

平成25年度

大学院医学工学総合教育部

修士課程(工学領域)学生募集要項



UNIVERSITY
OF
YAMANASHI

山梨大学

(<http://www.yamanashi.ac.jp>)

《アドミッション・ポリシー》

◇大学院医学工学総合教育部修士課程の理念・目標とアドミッション・ポリシー

[理念・目的]

現代社会が直面する課題の解決に応用でき、また、これら応用研究の基礎となる学術研究を、国際的視野を持って創造的に推進する優れた研究者並びに高度で専門的な知識と能力を有する職業人を養成する教育・研究を行います。

[教育目標]

専門知識及び開発能力、問題発見・解決能力、国際的コミュニケーション能力を修得し、専門技術者・研究者として社会に貢献できる人材の養成を目指します。

[アドミッション・ポリシー]

専門領域の基礎的学力を持ち、さらなる知識の修得意欲があり、高度の研究や応用を目指し、その成果を社会に還元しようとする人を求めます。

工学領域

- ・ **機械システム工学専攻**
機械物理、生産技術工学、システム設計工学を修得し、社会的要請にも応えられ、国際的にも活躍しようとする人を求めます。
- ・ **電気電子システム工学専攻**
電気電子工学の先端技術と関連境界領域技術を理解し、時代の要請に応える意欲を持つ人を求めます。
- ・ **コンピュータ・メディア工学専攻**
コンピュータの知識と技術および人間の情報処理機構の理解に基づくユビキタス／ネットワーク社会構築、および幅広い情報応用分野で活躍しようとする人を求めます。
- ・ **土木環境工学専攻**
土木工学と環境工学に関する専門知識の修得とあわせて研究能力を養い、環境と調和した安全で持続可能な社会を支える新しい時代の社会基盤の創造を推進する意欲のある人を求めます。
- ・ **応用化学専攻**
機能物質に関する高度な知識と先端技術を修得し、グリーンケミストリー、ナノ・機能材料、クリーンエネルギー分野に貢献しようとする人を求めます。
- ・ **生命工学専攻**
生命工学に関する高度な知識と先端技術を修得し、地域社会や国際社会に貢献しようとする意欲を持つ人を求めます。
- ・ **持続社会形成専攻**
物質循環と経済社会の連携した仕組みを理解し、ゼロエミッション社会を支えるエンジニア、社会システムアナリスト等の行政、教育、企業で活躍しようとする人を求めます。
- ・ **人間システム工学専攻**
機械系、電気系、土木環境系など多様な専門領域の知識と技術を修得し、人間社会のマネジメント、人間とのインターフェース、人間指向の機器デザイン・ファブリケーション、プロービング・センシングに関わる学際領域の諸問題を解決しようとする人を求めます。
- ・ **組込み型統合システム開発教育プログラム**
機械・電気・コンピュータの壁を超えて協働開発を主導できる組込みシステム高度技術者として企業、社会で活躍することを目指している人を求めます。
- ・ **国際流域環境科学特別教育プログラム**
水資源、水災害、水環境などに関する問題の解決に役立つ多様な専門領域の知識と技術を修得し、河川流域の総合水管理、国際的な水問題の解決に貢献しようとする人を求めます。
- ・ **グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム**
燃料電池、太陽電池、水素製造、熱電変換などの多様なグリーンエネルギーの変換と貯蔵に関する知識と先端技術を習得し、低炭素社会の実現に向けて国際的に活躍する強い意欲を持った人を求めます。
なお、本プログラムは、文部科学省・博士課程教育リーディングプログラム（5年一貫）に採択されています。

目 次

1 概 要	1
2 前期募集	
推薦特別選抜学生募集要項	3
自己推薦特別選抜学生募集要項	8
一般選抜学生募集要項	12
社会人特別選抜学生募集要項	21
社会人特別選抜1年コース学生募集要項	26
3 後期募集	
推薦特別選抜学生募集要項	31
自己推薦特別選抜学生募集要項	35
一般選抜学生募集要項	39
社会人特別選抜学生募集要項	47
社会人特別選抜1年コース学生募集要項	52
4 特別募集	
社会人特別選抜1年コース学生募集要項	57
5 講座内容	61

本要項添付の用紙（綴じ込み）

推薦特別選抜

- 別紙様式1 入学志願票、受験票、検定料受付証明書貼付票
- 別紙様式2 推薦書
- 別紙様式3 志望理由書
- 別紙様式4 研究計画書

自己推薦特別選抜

- 別紙様式1 入学志願票、受験票、検定料受付証明書貼付票
- 別紙様式2 自己推薦書
- 別紙様式3 志望理由書
- 別紙様式4 研究計画書

一般選抜

- 別紙様式1 入学志願票、受験票、検定料受付証明書貼付票
- 別紙様式2 志望理由書
- 別紙様式3 研究計画書

社会人特別選抜（1年コース含む）

- 別紙様式1 入学志願票、受験票、検定料受付証明書貼付票
- 別紙様式2 研究計画書
- 別紙様式3 志望理由書
- 別紙様式4 研究業績調書

共 通

- 振込用紙
- 入学願書提出者票・あて名票
- 返信用封筒

（問い合わせ先）

山梨大学教学支援部入試課
〒400-8510 甲府市武田四丁目4-37
電話 055-220-8046

（取り扱い時間）

平日（月～金）8時30分～17時
（ただし、休日、祝日、夏季一斉休業（8/14～8/16）
及び年末年始（12/29～1/3）を除く。）

1 概 要

概 要

1 募集人員

専攻等	募集区分等	募 集 人 員												総募集人員	
		前 期 募 集						後 期 募 集							特別募集 社会人特別 選抜1年 コース
		推薦 特別 選抜	自己 推薦 特別 選抜	一般 選抜	社会人 特別選抜		教育 プログラム 特別 選抜	推薦 特別 選抜	自己 推薦 特別 選抜	一般 選抜	社会人 特別選抜		教育 プログラム 特別 選抜		
			2年 コース	1年 コース					2年 コース	1年 コース					
機械システム工学専攻	33人	22人	若干人	8人	若干人					若干人	若干人				30人 ※1
電気電子システム工学専攻	27人			23人	若干人					若干人	若干人				23人 ※1
コンピュータ・メディア工学専攻	30人			27人	若干人					若干人	若干人				27人 ※1
土木環境工学専攻	27人			21人	若干人					若干人	若干人				21人 ※1
応用化学専攻	30人	17人		8人	若干人					若干人	若干人				25人 ※1
生命工学専攻 (ワイン科学コースを含む)	22人	11人	若干人 ワイン科学 コース のみ募集	6人	若干人					若干人	若干人	若干人	若干人		17人 ※1
持続社会形成専攻	30人			12人	若干人	2人				若干人	若干人	2人		2人	18人 ※1
人間システム工学専攻	18人	12人	若干人	5人	若干人					若干人	若干人	若干人			17人 ※1
組込み型統合システム 開発教育プログラム	(9人)			9人	若干人					若干人	若干人				9人 ※1
国際流域環境科学 特別教育プログラム	(8人)			8人	若干人					若干人	若干人				8人 ※1
クリーンエネルギー 特別教育プログラム ※2	(2人)						2人					若干人			2人 ※1
ワイン科学 特別教育プログラム ※2	(5人)						5人					若干人			5人 ※1
グリーンエネルギー 変換工学 特別教育プログラム	(15人)			15人						若干人					15人 ※1
合 計	217人	62人		142人		2人	7人					2人		2人	217人

※1 組込み型統合システム開発教育プログラムの募集人員9人は、機械システム工学専攻、電気電子システム工学専攻、コンピュータ・メディア工学専攻の入学定員から各3人を充当しています。

国際流域環境科学特別教育プログラムの募集人員8人は、土木環境工学専攻から6人、持続社会形成専攻から2人を充当しています。

クリーンエネルギー特別教育プログラムの募集人員2人は、応用化学専攻から充当しています。

ワイン科学特別教育プログラムの募集人員5人は、生命工学専攻から充当しています。

グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラムの募集人員15人は、電気電子システム工学専攻から1人、応用化学専攻から3人、持続社会形成専攻から10人、人間システム工学専攻から1人を充当しています。

※2 クリーンエネルギー特別教育プログラム及びワイン科学特別教育プログラムについては、別途学生募集要項を発表します。

2 日 程

【前期募集】

項 目		募集区分		推 薦 特 別 選 抜	自 己 推 薦 特 別 選 抜	一 般 選 抜	社 会 人 特 別 選 抜 (1年コースを含む)
出 願 手 続		平成 24 年 6 月 11 日 (月) ~ 6 月 15 日 (金) (郵送の場合は、6 月 13 日 (水) の消印まで有効)					
出 願 資 格 審 査		出願資格によっては、事前の出願資格審査が必要ですので、 各募集要項における出願資格の【注】を参照してください。					
試 験 日		平成 24 年 7 月 7 日 (土)					
合 格 者 の 発 表		平成 24 年 7 月 20 日 (金)					
入学手続 (予定)	平成 24 年 10 月入学	平成 24 年 9 月 14 日 (金)					
	平成 25 年 4 月入学	平成 25 年 3 月 7 日 (木) ~ 3 月 15 日 (金)					

【後期募集】

項 目		募集区分		推 薦 特 別 選 抜	自 己 推 薦 特 別 選 抜	一 般 選 抜	社 会 人 特 別 選 抜 (1年コースを含む)
出 願 手 続		平成 24 年 11 月 12 日 (月) ~ 11 月 16 日 (金) (郵送の場合は、11 月 14 日 (水) の消印まで有効)					
出 願 資 格 審 査		出願資格によっては、事前の出願資格審査が必要ですので、 各募集要項における出願資格の【注】を参照してください。					
試 験 日		平成 24 年 12 月 1 日 (土)					
合 格 者 の 発 表		平成 24 年 12 月 14 日 (金)					
入学手続 (予定)	平成 25 年 4 月入学	平成 25 年 3 月 7 日 (木) ~ 3 月 15 日 (金)					
	平成 25 年 10 月入学	平成 25 年 9 月 13 日 (金)					

【特別募集】

項 目		募集区分		社 会 人 特 別 選 抜 (1年コース)			
出 願 手 続		平成 25 年 2 月 25 日 (月) ~ 3 月 1 日 (金) (郵送の場合は、2 月 27 日 (水) の消印まで有効)					
出 願 資 格 審 査		出願資格によっては、事前の出願資格審査が必要ですので、 各募集要項における出願資格の【注】を参照してください。					
試 験 日		平成 25 年 3 月 13 日 (水)					
合 格 者 の 発 表		平成 25 年 3 月 21 日 (木)					
入学手続 (予定)	平成 25 年 4 月入学	平成 25 年 3 月 22 日 (金) ~ 3 月 27 日 (水)					
	平成 25 年 10 月入学	平成 25 年 9 月 13 日 (金)					

2 前期募集

推薦特別選抜学生募集要項

現在、科学技術の進展と広がり著しく、社会的要請として既存の学問体系の枠を超えた学際的学問分野及び新研究分野の創造が望まれています。

この視点から、本修士課程(工学領域)では、特色ある教育と研究の場の提供をめざして、各専門分野または各専門分野を超えた学問・研究に取り組む積極的、意欲的な学生を対象に口述試験及び出願書類の審査による特別選抜を実施します。

1 募集人員

専攻名	募集人員
機械システム工学専攻	22人
応用化学専攻	17人
生命工学専攻	11人
人間システム工学専攻	12人
合計	62人

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する方で、出身大学等において優秀な成績を修め指導教員等から本人の能力について推薦を得られる方、かつ、合格後に入学することを確約できる方

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した方又は平成25年3月(平成24年10月入学希望者は、平成24年9月)までに卒業見込みの方
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された方又は短期大学若しくは高等専門学校の専攻科を平成25年3月(平成24年10月入学希望者は、平成24年9月)までに修了見込みの方で、平成25年3月(平成24年10月入学希望者は、平成24年9月)までに同法の規定により学士の学位を授与される見込みの方
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した方又は平成25年3月(平成24年10月入学希望者は、平成24年9月)までに修了見込みの方
- (4) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方又は平成25年3月(平成24年10月入学希望者は、平成24年9月)までに修了見込みの方
- (5) 文部科学大臣が大学院の入学に関し、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方(各省庁の「大学校」等を卒業(修了)した方)
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方又は平成25年3月(平成24年10月入学希望者は、平成24年9月)までに修了見込みの方
- (7) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し所定の単位を優れた成績をもって修得したものと大学院において認めた方

[注] 上記の(7)により入学を志願しようとする方については、事前に出願資格の審査を行いますので、提出書類等について5月16日(水)までに教学支援部入試課にお問い合わせください。

3 出願手続

- (1) 出願期間：平成24年6月11日(月)～6月15日(金)(期間厳守)
 - ア 本要項添付の「出願用封筒」を使用してください。
 - イ 持参の場合は、出願期間中の毎日9時から16時30分の間に受け付けます。
 - ウ 郵送の場合は、書留速達郵便とし、6月13日(水)の消印まで有効とします。

外国人(留学生)の出願資格の審査

外国人(留学生)で入学を志願する方については、事前に出願資格の審査を行います。

出願資格の審査に必要な出願書類等(入学検定料を除く。)を取りそろえ、5月14日(月)から5月18日(金)までの間に必着するよう教学支援部入試課に提出してください。ただし、郵送の場合は、書留速達郵便とし、5月16日(水)の消印まで有効とします。

なお、出願時点において、「2 出願資格」(1)の出願資格で志願する方(国費、政府派遣、私費を問いません。)については、出願資格の審査を免除します。

また、研究生(国費、政府派遣、私費)及び昨年度までの出願者で、既に本学において事前審査等を受けた方については、免除する場合がありますので、事前に教学支援部入試課にお問い合わせください。

なお、出願資格の審査結果は、5月25日(金)までに通知します。

(2) 提出先：〒400-8510 甲府市武田四丁目4-37

山梨大学教学支援部入試課

電話 055-220-8046

4 出願書類等

入学を志願する方は、次の書類等を提出してください。

出願書類等	摘 要
①検定料受付 証明書貼付票 (入学検定料) (30,000円)	振込手続の際は、必ず銀行等の領収印を押印した「検定料受付証明書」を受領し、出願時に「検定料受付証明書貼付票」に「検定料受付証明書」(原本)を貼り付けて、提出してください。(【入学検定料払込等についての注意事項】参照)
②入学志願票 受 験 票	入学志願票については、別紙様式1(裏面にも)に必要事項を記入してください。 写真は、出願前3か月以内に撮影した正面上半身無帽のものを指定欄に貼り付けてください。
③成績証明書	出身大学長等が作成したものを提出してください。
④卒業(見込) 証明書	<ul style="list-style-type: none">出身大学長等が作成したものを提出してください。出願資格の(2)により入学を志願する方は、学位授与証明書・学位授与申請受理証明書(大学評価・学位授与機構が発行したもの)、又は学位授与申請予定証明書(在籍学校長が発行したもの)を提出してください。本学を卒業見込みの方は不要です。
⑤推 薦 書	<ul style="list-style-type: none">出身大学等の指導教員等の推薦書(別紙様式2)を厳封して提出してください。人間システム工学専攻を除く各専攻では、本学を卒業した方及び卒業見込みの方の場合に、②の入学志願票の指導教員欄の押印をもって、本書類に代えることができます。
⑥志望理由書	別紙様式3を提出してください。
⑦研究計画書	別紙様式4を提出してください。
⑧入 学 願 書 提出者票・ あて名票	本要項添付のものに、必要事項を記入してください。
⑨返信用封筒	本要項添付のものに、あて先を明記し、350円切手を貼り付けてください。 持参する方は不要です。
⑩そ の 他	<ul style="list-style-type: none">外国人(留学生)で入学を志願する方は、外国人登録証明書又は旅券の写しを提出してください。改姓により各証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。

【入学検定料払込等についての注意事項】

本要項添付の「指定振込用紙」を使用し、金融機関（銀行又は郵便局）の窓口において振込んでください。
（ATMでの振込は不可）

出願書類の提出にあたっては、次の事項に注意してください。

- (1) 出願に先だって、希望する指導教員と事前打合せを十分に行ってください。
(指導教員の連絡先については、教学支援部入試課に照会してください。)
- (2) 出願書類の受付後は、書類の返却及び入学検定料の返還はしません。
- (3) 出願手続等に不明の点があれば、教学支援部入試課に照会してください。
- (4) 出願手続後は、記載事項の変更は認められません。
- (5) 提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- (6) 外国人(留学生)の提出書類中、英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。

5 選抜方法

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 口述試験

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容に関して試問します。

なお、口頭発表にはOHP原稿又はプレゼンテーション用ソフトウェア(MS-Power Point等)を用いてください。
(プレゼンテーション用ソフトウェア等を利用する方は、ノートパソコンを持参してください。)

・口述試験時間

専攻名	口頭発表時間	試問時間	備考
機械システム工学専攻	10分	5分	書類選考により口述試験を短縮する場合があります。
応用化学専攻	5分	7分	
生命工学専攻	10分	5分	
人間システム工学専攻	10分	5分	

(2) 出願書類の審査

6 試験日時及び場所

(1) 試験日時

機械システム工学専攻

試験日	13時30分～
平成24年7月7日(土)	口述試験

応用化学専攻、生命工学専攻、人間システム工学専攻

試験日	9時30分～
平成24年7月7日(土)	口述試験

(2) 試験場

①機械システム工学専攻、生命工学専攻、人間システム工学専攻

：山梨大学 各専攻会議室等

(試験開始20分前までに甲府東キャンパスA-2号館1階ロビーに集合してください。)

②応用化学専攻

：山梨大学甲府西キャンパス 総合研究棟内

(試験開始20分前までに総合研究棟1階ロビーに集合してください。)

7 合格者の発表

合格者の発表は、平成24年7月20日(金)17時ごろ甲府東キャンパスA-2号館正面入り口に掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します(電話等による合否の問い合わせには応じかねます。)

なお、合格者の受験番号をホームページ(<http://www.yamanashi.ac.jp>)にも掲載します。

8 入学時期

平成25年度前期学生募集志願者の入学時期については、志願者が入学時期を選択できます。

出願時に、平成24年10月(後期)又は平成25年4月(前期)入学のいずれかから、自分の希望入学時期を選び、「入学志願票」の入学希望時期欄に○印を必ず付けてください。

また、出願後は、「入学時期の変更」が認められませんので、ご注意ください。

なお、10月(後期)入学の手続き等について、不明な点がある場合は、教学支援部入試課までお問い合わせください。

9 入学手続

(1) 入学手続の期日(予定)

入学時期	入学手続日
平成24年10月入学	平成24年9月14日(金)
平成25年4月入学	平成25年3月7日(木)～3月15日(金)

(2) 納入金は、入学金 282,000 円(予定)です。

①銀行の窓口において、入学金を振込む際には、振込み手続を行う方(振込名義人に代わって保護者等が行う場合にあっては、当該保護者等)の本人確認書類(運転免許証、健康保険証、パスポートなど)の提示が必要となります。

②入学金は、入学時に改定されることがあります。また、既納の入学金はいかなる理由があっても返還しません。

(3) 入学手続関係書類は、別途通知します。

10 授業料

平成 24 年 10 月入学者は、後期分 267,900 円の予定です。

平成 25 年 4 月入学者は、前期分 267,900 円（年額 535,800 円）の予定です。

- ・授業料は、予定額であり、入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納入金が適用されます。
- ・授業料は原則、口座引き落としとなっています。手続については、別途案内します。

11 その他の経費

学生教育研究災害傷害保険料等の経費が必要です。

12 その他

奨学金を希望する方は、合格者発表後、教学支援部学生支援課（電話 055-220-8053）へ問い合わせてください。

自己推薦特別選抜学生募集要項

本修士課程(工学領域)では、特色ある教育と研究の場を学外にも門戸を広げて提供することをめざして、各専門分野または各専門分野を超えた学問・研究に意欲的に励むことができ、かつ今後の積極的な研究学習の取り組みに対して特に明確な自己推薦ができる学生を対象に口述試験及び出願書類の審査による特別選抜を実施します。

1 募集人員

専攻名	募集人員
機械システム工学専攻	若干人
生命工学専攻ワイン科学コース(ワイン人材生涯養成拠点)	若干人
人間システム工学専攻	若干人

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する方、かつ、合格後に入学することを確約できる方

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した方又は平成25年3月(平成24年10月入学希望者は、平成24年9月)までに卒業見込みの方
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された方又は短期大学若しくは高等専門学校の専攻科を平成25年3月(平成24年10月入学希望者は、平成24年9月)までに修了見込みの方で、平成25年3月(平成24年10月入学希望者は、平成24年9月)までに同法の規定により学士の学位を授与される見込みの方
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した方又は平成25年3月(平成24年10月入学希望者は、平成24年9月)までに修了見込みの方
- (4) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方又は平成25年3月(平成24年10月入学希望者は、平成24年9月)までに修了見込みの方
- (5) 文部科学大臣が大学院の入学に関し、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方(各省庁の「大学校」等を卒業(修了)した方)
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方又は平成25年3月(平成24年10月入学希望者は、平成24年9月)までに修了見込みの方
- (7) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し所定の単位を優れた成績をもって修得したものと大学院において認めた方

【注】上記の(7)により入学を志願しようとする方については、事前に出願資格の審査を行いますので、提出書類等について5月16日(水)までに教学支援部入試課にお問い合わせください。

3 出願手続

- (1) 出願期間：平成24年6月11日(月)～6月15日(金)(期間厳守)
 - ア 本要項添付の「出願用封筒」を使用してください。
 - イ 持参の場合は、出願期間中の毎日9時から16時30分の間に受け付けます。
 - ウ 郵送の場合は、書留速達郵便とし、6月13日(水)の消印まで有効とします。

外国人(留学生)の出願資格の審査

外国人(留学生)で入学を志願する方については、事前に出願資格の審査を行います。

出願資格の審査に必要な出願書類等(入学検定料を除く。)を取りそろえ、5月14日(月)から5月18日(金)までの間に必着するよう教学支援部入試課に提出してください。ただし、郵送の場合は、書留速達郵便とし、5月16日(水)の消印まで有効とします。

なお、出願時点において、「2 出願資格」(1)の出願資格で志願する方(国費、政府派遣、私費を問いません。)については、出願資格の審査を免除します。

また、研究生(国費、政府派遣、私費)及び昨年度までの出願者で、既に本学において事前審査等を受けた方については、免除する場合がありますので、事前に教学支援部入試課にお問い合わせください。

なお、出願資格の審査結果は、5月25日(金)までに通知します。

(2) 提出先：〒400-8510 甲府市武田四丁目4-37

山梨大学教学支援部入試課

電話 055-220-8046

4 出願書類等

入学を志願する方は、次の書類等を提出してください。

出願書類等	摘 要
①検定料受付 証明書貼付票 (入学検定料) 30,000円)	振込手続の際は、必ず銀行等の領収印を押印した「検定料受付証明書」を受領し、出願時に「検定料受付証明書貼付票」に「検定料受付証明書」(原本)を貼り付けて、提出してください。(【入学検定料払込等についての注意事項】参照)
②入学志願票 受験票	入学志願票については、別紙様式1(裏面にも)に必要な事項を記入してください。 写真は、出願前3か月以内に撮影した正面上半身無帽のものを指定欄に貼り付けてください。
③成績証明書	出身大学長等が作成したものを提出してください。
④卒業(見込) 証明書	・出身大学長等が作成したものを提出してください。 ・出願資格の(2)により入学を志願する方は、学位授与証明書・学位授与申請受理証明書(大学評価・学位授与機構が発行したもの)、又は学位授与申請予定証明書(在籍学校長が発行したもの)を提出してください。 ・本学を卒業見込みの方は不要です。
⑤自己推薦書	別紙様式2を提出してください。
⑥志望理由書	別紙様式3を提出してください。
⑦研究計画書	別紙様式4を提出してください。
⑧入学願書 提出者票・ あて名票	本要項添付のものに、必要事項を記入してください。
⑨返信用封筒	本要項添付のものに、あて先を明記し、350円切手を貼り付けてください。 持参する方は不要です。
⑩そ の 他	・外国人(留学生)で入学を志願する方は、外国人登録証明書又は旅券の写しを提出してください。 ・改姓により各証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。

【入学検定料払込等についての注意事項】

本要項添付の「指定振込用紙」を使用し、金融機関(銀行又は郵便局)の窓口において振込んでください。

(ATMでの振込は不可)

出願書類の提出にあたっては、次の事項に注意してください。

(1) 出願に先だって、希望する指導教員と事前打合せを十分に行ってください。

(指導教員の連絡先については、教学支援部入試課に照会してください。)

(2) 出願書類の受付後は、書類の返却及び入学検定料の返還はしません。

(3) 出願手続等に不明の点があれば、教学支援部入試課に照会してください。

- (4) 出願手続後は、記載事項の変更は認められません。
- (5) 提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- (6) 外国人(留学生)の提出書類中、英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。

5 選抜方法

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 口述試験

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容に関して試問します。

特に、生命工学専攻ワイン科学コース(ワイン人材生涯養成拠点)においては、目的意識、勉学意識、論理的思考力、基礎的素養、大学等学部で学習した成果などに着目して総合的に評価します。

なお、口頭発表にはOHP原稿又はプレゼンテーション用ソフトウェア(MS-Power Point等)を用いてください。

(プレゼンテーション用ソフトウェア等を利用する方は、ノートパソコンを持参してください。)

・口述試験時間

専 攻 名	口頭発表時間	試問時間
機械システム工学専攻	10分	5分
生命工学専攻ワイン科学コース (ワイン人材生涯養成拠点)	10分	10分
人間システム工学専攻	10分	10分

(2) 出願書類の審査

6 試験日時及び場所

(1) 試験日時

機械システム工学専攻

試 験 日	13時30分～
平成24年7月7日(土)	口 述 試 験

生命工学専攻ワイン科学コース(ワイン人材生涯養成拠点)

試 験 日	9時00分～
平成24年7月7日(土)	口 述 試 験

人間システム工学専攻

試 験 日	9時30分～
平成24年7月7日(土)	口 述 試 験

(2) 試験場

①機械システム工学専攻、人間システム工学専攻

: 山梨大学 各専攻会議室等

(試験開始20分前までに甲府東キャンパスA-2号館1階ロビーに集合してください。)

②生命工学専攻ワイン科学コース(ワイン人材生涯養成拠点)

: 山梨大学大学院医学工学総合研究部附属ワイン科学研究センター1階講義室

(試験開始20分前までにワイン科学研究センター1階会議室に集合してください。)

7 合格者の発表

合格者の発表は、平成24年7月20日(金)17時ごろ甲府東キャンパスA-2号館正面入り口に掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します(電話等による合否の問い合わせには応じかねます。)

なお、合格者の受験番号をホームページ(<http://www.yamanashi.ac.jp>)にも掲載します。

8 入学時期

平成 25 年度前期学生募集志願者の入学時期については、志願者が入学時期を選択できます。

出願時に、平成 24 年 10 月（後期）又は平成 25 年 4 月（前期）入学のいずれかから、自分の希望入学時期を選び、「入学志願票」の入学希望時期欄に○印を必ず付けてください。

また、出願後は、「入学時期の変更」が認められませんので、ご注意ください。

なお、10 月（後期）入学の手続き等について、不明な点がある場合は、教学支援部入試課までお問い合わせください。

9 入学手続

(1) 入学手続の期日(予定)

入学時期	入学手続日
平成 24 年 10 月入学	平成 24 年 9 月 14 日(金)
平成 25 年 4 月入学	平成 25 年 3 月 7 日(木) ~ 3 月 15 日(金)

(2) 納入金は、入学料 282,000 円(予定)です。

①銀行の窓口において、入学料を振込む際には、振込み手続を行う方（振込名義人に代わって保護者等が行う場合にあつては、当該保護者等）の本人確認書類（運転免許証、健康保険証、パスポートなど）の提示が必要となります。

②入学料は、入学時に改定されることがあります。また、既納の入学料はいかなる理由があっても返還しません。

(3) 入学手続関係書類は、別途通知します。

10 授業料

平成 24 年 10 月入学者は、後期分 267,900 円の予定です。

平成 25 年 4 月入学者は、前期分 267,900 円（年額 535,800 円）の予定です。

- ・授業料は、予定額であり、入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納入金が適用されます。
- ・授業料は原則、口座引き落としとなっています。手続については、別途案内します。

11 その他の経費

学生教育研究災害傷害保険料等の経費が必要です。

12 その他

奨学金を希望する方は、合格者発表後、教学支援部学生支援課（電話 055-220-8053）へ問い合わせてください。

一般選抜学生募集要項

1 募集人員

専攻等名	募集人員
機械システム工学専攻	8人
電気電子システム工学専攻	23人
コンピュータ・メディア工学専攻	27人
土木環境工学専攻	21人
応用化学専攻	8人
生命工学専攻	6人
持続社会形成専攻	12人
人間システム工学専攻	5人
組込み型統合システム開発教育プログラム	9人
国際流域環境科学特別教育プログラム	8人
グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム 〔博士課程教育リーディングプログラム(5年一貫)〕	15人
合計	142人

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する方

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した方又は平成25年3月(平成24年10月入学希望者は、平成24年9月)までに卒業見込みの方
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された方又は短期大学若しくは高等専門学校の専攻科を平成25年3月(平成24年10月入学希望者は、平成24年9月)までに修了見込みの方で、平成25年3月(平成24年10月入学希望者は、平成24年9月)までに同法の規定により学士の学位を授与される見込みの方
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した方又は平成25年3月(平成24年10月入学希望者は、平成24年9月)までに修了見込みの方
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方又は平成25年3月(平成24年10月入学希望者は、平成24年9月)までに修了見込みの方
- (6) 文部科学大臣が大学院の入学に関し、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方(各省庁の「大学校」等を卒業(修了)した方)
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方又は平成25年3月(平成24年10月入学希望者は、平成24年9月)までに修了見込みの方
- (8) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し所定の単位を優れた成績をもって修得したものと大学院において認めた方
- (9) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方で、入学の時点で22歳に達している方

[注] 上記の(8)又は(9)により入学を志願しようとする方については、事前に出願資格の審査を行いますので、提出書類等について5月16日(水)までに教学支援部入試課に問い合わせてください。

3 出願手続

(1) 出願期間：平成 24 年 6 月 11 日(月)～6 月 15 日(金)(期間厳守)

ア 本要項添付の「出願用封筒」を使用してください。

イ 持参の場合は、出願期間中の毎日 9 時から 16 時 30 分の間に受け付けます。

ウ 郵送の場合は、書留速達郵便とし、6 月 13 日(水)の消印まで有効とします。

外国人(留学生)の出願資格の審査

外国人(留学生)で入学を志願する方については、事前に出願資格の審査を行います。

出願資格の審査に必要な出願書類等(入学検定料を除く。)を取りそろえ、5 月 14 日(月)から 5 月 18 日(金)までの間に必着するよう教学支援部入試課に提出してください。ただし、郵送の場合は、書留速達郵便とし、5 月 16 日(水)の消印まで有効とします。

なお、出願時点において、「2 出願資格」(1)の出願資格で志願する方(国費、政府派遣、私費を問いません。)については、出願資格の審査を免除します。

また、研究生(国費、政府派遣、私費)及び昨年度までの出願者で、既に本学において事前審査等を受けた方については、免除する場合がありますので、事前に教学支援部入試課にお問い合わせください。

なお、出願資格の審査結果は、5 月 25 日(金)までに通知します。

(2) 提出先：〒 400-8510 甲府市武田四丁目 4-37

山梨大学教学支援部入試課

電話 055-220-8046

4 出願書類等

入学を志願する方は、次の書類等を提出してください。

出願書類等	摘 要
①検定料受付 証明書貼付票 (入学検定料 30,000円)	振込手続の際は、必ず銀行等の領収印を押印した「検定料受付証明書」を受領し、出願時に「検定料受付証明書貼付票」に「検定料受付証明書」(原本)を貼り付けて、提出してください。(【入学検定料払込等についての注意事項】参照)
②入学志願票 受験票	入学志願票については、別紙様式1(裏面にも)に必要な事項を記入してください。 写真は、出願前3か月以内に撮影した正面上半身無帽のものを指定欄に貼り付けてください。
③成績証明書	出身大学長等が作成したものを提出してください。
④卒業(見込) 証明書	・出身大学長等が作成したものを提出してください。 ・出願資格の(2)により入学を志願する方は、学位授与証明書・学位授与申請受理証明書(大学評価・学位授与機構が発行したもの)、又は学位授与申請予定証明書(在籍学校長が発行したもの)を提出してください。 ・本学を卒業見込みの方は不要です。
⑤志望理由書	電気電子システム工学専攻、コンピュータ・メディア工学専攻、土木環境工学専攻、応用化学専攻、持続社会形成専攻、人間システム工学専攻、組込み型統合システム開発教育プログラム、国際流域環境科学特別教育プログラム、グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラムへ入学を志願する方は、別紙様式2を提出してください。(他の専攻は不要です。)
⑥研究計画書	電気電子システム工学専攻、コンピュータ・メディア工学専攻、土木環境工学専攻、応用化学専攻、持続社会形成専攻、人間システム工学専攻、組込み型統合システム開発教育プログラム、国際流域環境科学特別教育プログラム、グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラムへ入学を志願する方は、別紙様式3を提出してください。(他の専攻は不要です。)
⑦入学願書 提出者票・ あて名票	本要項添付のものに、必要事項を記入してください。
⑧返信用封筒	本要項添付のものに、あて先を明記し、350円切手を貼り付けてください。 持参する方は不要です。
⑨そ の 他	・外国人(留学生)で入学を志願する方は、外国人登録証明書又は旅券の写しを提出してください。 ・改姓により各証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。

【入学検定料払込等についての注意事項】

本要項添付の「指定振込用紙」を使用し、金融機関(銀行又は郵便局)の窓口において振込んでください。
(ATMでの振込は不可)

出願書類の提出にあたっては、次の事項に注意してください。

- (1) 出願に先だって、希望する指導教員と事前打合せを十分に行ってください。
(指導教員の連絡先については、教学支援部入試課に照会してください。)
- (2) 出願書類の受付後は、書類の返却及び入学検定料の返還はしません。
- (3) 出願手続等に不明の点があれば、教学支援部入試課に照会してください。
- (4) 出願手続後は、記載事項の変更は認められません。

- (5) 提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- (6) 外国人(留学生)の提出書類中、英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。

5 選抜方法

各専攻・教育プログラムの選抜方法については、次の事項に注意してください。

- (1) 出願書類の受付後は、志望専攻・教育プログラム及び受験科目の変更は認めません。
- (2) 基礎及び専門科目の筆記試験においては、電卓を使用することが可能です。
- (3) 辞書及び参考書等の持ち込みは一切認めません。

<機械システム工学専攻>

入学者の選抜にあたっては、筆記試験、口述試験、出身大学等学部の成績証明書等の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

- (1) 筆記試験(基礎及び専門科目)

数学(線形代数、微分積分、微分方程式)、材料力学、機械力学、熱力学、流体力学の5科目のうちから2科目を試験場で選択する。

- (2) 筆記試験(外国語)

試験科目は英語とします。

ただし、外国人(留学生)に対する科目は日本語又は英語とします。

出題内容は専門科目に関連したものです。

- (3) 口述試験(10分)

専門科目等に関連して試問します。

<電気電子システム工学専攻>

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

- ・口述試験(口頭発表時間10分、試問時間10分)

志望理由及び入学後の研究計画について、10分間で口頭発表してください。口頭発表の内容、及び関連する基礎学力・専門知識等に関して試問します。

(注) 口頭発表にはプレゼンテーション用ソフトウェア(MS-Power Point等)を用いてください。

(プレゼンテーション用ソフトウェア等を利用する方は、ノートパソコンを持参してください。)

<コンピュータ・メディア工学専攻>

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。(出願書類の審査結果により口述試験を免除する場合があります。その場合は事前に連絡します。)

- ・口述試験(口頭発表時間20分、試問時間20分)

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容に関して試問します。志望理由書と研究計画書は、技術的観点を中心にして論理的に展開して記述してください。

(注) 口頭発表にはプレゼンテーション用ソフトウェア(MS-Power Point等)を用いてください。

(ノートパソコンを持参してください。)

<土木環境工学専攻>

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

- ・口述試験(口頭発表時間 10 分、試問時間 10 分)

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容及び専門科目等に関連して試問します。

(注) 口頭発表にはOHP原稿又はプレゼンテーション用ソフトウェア (MS-Power Point 等) を用いてください。
(プレゼンテーション用ソフトウェア等を利用する方は、ノートパソコンを持参してください。)

<応用化学専攻>

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

- ・口述試験(口頭発表時間 5 分、試問時間 10 分)

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容及び専門科目等に関連して試問します。

(注) 口頭発表にはOHP原稿又はプレゼンテーション用ソフトウェア (MS-Power Point 等) を用いてください。
(プレゼンテーション用ソフトウェア等を利用する方は、ノートパソコンを持参してください。)

<生命工学専攻>

入学者の選抜にあたっては、筆記試験、口述試験、出身大学等学部の成績証明書等の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

- (1) 筆記試験(専門科目)

微生物学、生化学、有機化学、生物化学工学の 4 科目のうちから 2 科目を出願時に選択する。

- (2) 筆記試験(外国語)

試験科目は英語とします。

ただし、外国人(留学生)に対する科目は日本語又は英語とします。

出題内容は専門科目に関連したものです。

- (3) 口述試験(口頭発表時間 10 分、試問時間 5 分)

専門科目等に関連して試問します。

<持続社会形成専攻>

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

- ・口述試験(口頭発表時間 10 分、試問時間 10 分)

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容に関して試問します。

(注) 口頭発表には書画カメラ又はプレゼンテーション用ソフトウェア (MS-Power Point 等) を用いてください。
(MS-Power Point 用ファイルは USB メモリか CD に入れて持参してください。その他のプレゼンテーションソフトウェアを用いたい場合は、ノートパソコンを持参してください。)

<人間システム工学専攻>

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

- ・口述試験(口頭発表時間 10 分、試問時間 10 分)

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容に関して試問します。

(注) 口頭発表にはOHP原稿又はプレゼンテーション用ソフトウェア(MS-Power Point 等)を用いてください。
(プレゼンテーション用ソフトウェア等を利用する方は、ノートパソコンを持参してください。)

<組込み型統合システム開発教育プログラム>

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。(出願書類の審査結果により口述試験を免除する場合があります。その場合は事前に連絡します。)

- ・口述試験(口頭発表時間 15 分、試問時間 15 分)

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容に関して試問します。

(注) 口頭発表にはOHP原稿又はプレゼンテーション用ソフトウェア(MS-Power Point 等)を用いてください。
(プレゼンテーション用ソフトウェア等を利用する方は、ノートパソコンを持参してください。)

<国際流域環境科学特別教育プログラム>

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

- ・口述試験(口頭発表時間 10 分、試問時間 10 分)

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容に関して試問します。

(注) 口頭発表にはOHP原稿又はプレゼンテーション用ソフトウェア(MS-Power Point 等)を用いてください。
(プレゼンテーション用ソフトウェア等を利用する方は、ノートパソコンを持参してください。)

<グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム>

入学者の選抜にあたっては、筆記試験、口述試験、出身大学等学部の成績証明書等の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

- (1) 筆記試験(基礎及び専門科目)

(基礎及び専門科目)

出願時に下記の科目群Ⅰ～Ⅲのうちから1つの科目群を申し出てください。

科目群Ⅰ：化学A、化学B

科目群Ⅱ：物理、機械材料学

科目群Ⅲ：物理、電磁気学・電子物性

(注)

1. 化学Aの出題内容は、熱力学、相平衡、化学反応速度、原子と分子の電子構造などです。
2. 化学Bの出題内容は、分光・回折、結晶構造、無機材料の電子構造と性質、電解質溶液、化学電池などです。
3. 物理の出題内容は、力と運動の分野で、簡単な微分方程式の内容を含みます。
4. 機械材料学の出題内容は、結晶の構造と欠陥、状態図と組織、材料の変形と加工などです。
5. 電磁気学・電子物性の出題内容は、静電界・静磁界、電磁誘導、エネルギーバンド、キャリアの運動などです。

(2) 筆記試験(外国語)

試験科目は英語とします。

ただし、外国人(留学生)に対する科目は日本語又は英語とします。

出題内容は専門科目に関連したものです。

(3) 口述試験(口頭発表時間 10 分、試問時間 10 分)

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表及び発表内容に関連して試問します。

(注) 口頭発表にはOHP原稿又はプレゼンテーション用コンピュータソフトウェア(MS-Power Point 等)を用いてください。

(プレゼンテーション用コンピュータソフトウェア等を利用する方は、ノートパソコンを持参してください。)

6 試験日時及び場所

(1) 試験日時

機械システム工学専攻

試験日	9時30分～12時	13時30分～15時30分
平成24年7月7日(土)	筆記試験 (基礎及び専門科目、外国語)	口述試験

電気電子システム工学専攻

試験日	9時30分～
平成24年7月7日(土)	口述試験

コンピュータ・メディア工学専攻

試験日	9時30分～
平成24年7月7日(土)	口述試験

土木環境工学専攻

試験日	9時30分～
平成24年7月7日(土)	口述試験

応用化学専攻

試験日	9時30分～
平成24年7月7日(土)	口述試験

生命工学専攻

試験日	9時30分～12時	13時30分～
平成24年7月7日(土)	筆記試験 (専門科目及び外国語)	口述試験

持続社会形成専攻

試験日	9時30分～
平成24年7月7日(土)	口述試験

人間システム工学専攻

試 験 日	9時30分～
平成24年7月7日(土)	口 述 試 験

組込み型統合システム開発教育プログラム

試 験 日	9時30分～
平成24年7月7日(土)	口 述 試 験

国際流域環境科学特別教育プログラム

試 験 日	9時30分～
平成24年7月7日(土)	口 述 試 験

グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム

試 験 日	9時30分～11時30分	11時40分～12時30分	13時30分～
平成24年7月7日(土)	筆 記 試 験 (基礎及び専門科目)	筆 記 試 験 (外国語)	口 述 試 験

(2) 試験場

(集合場所は下記のとおりですが、詳細については各専攻等から別途連絡いたします。)

①機械システム工学専攻、生命工学専攻

: 山梨大学甲府東キャンパス A-2号館2階 A2-21教室

(試験開始20分前までにA2-21教室に集合してください。)

②電気電子システム工学専攻、コンピュータ・メディア工学専攻、土木環境工学専攻、人間システム工学専攻、
組込み型統合システム開発教育プログラム、国際流域環境科学特別教育プログラム

: 山梨大学 各専攻会議室等

(試験開始20分前までに甲府東キャンパスA-2号館1階ロビーに集合してください。)

③応用化学専攻: 山梨大学甲府西キャンパス 総合研究棟内

(試験開始20分前までに総合研究棟1階ロビーに集合してください。)

④持続社会形成専攻: 山梨大学甲府東キャンパス A-2号館2階 工学部会議室

(試験開始20分前までに工学部会議室に集合してください。)

⑤グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム: 山梨大学甲府東キャンパス B-2号館1階 B2-11教室

(試験開始20分前までにB2-11教室に集合してください。)

7 合格者の発表

合格者の発表は、平成24年7月20日(金)17時ごろ甲府東キャンパスA-2号館正面入り口に掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します(電話等による合否の問い合わせには応じかねます。)

なお、合格者の受験番号をホームページ(<http://www.yamanashi.ac.jp>)にも掲載します。

8 入学時期

平成 25 年度前期学生募集志願者の入学時期については、志願者が入学時期を選択できます。

出願時に、平成 24 年 10 月（後期）又は平成 25 年 4 月（前期）入学のいずれかから、自分の希望入学時期を選び、「入学志願票」の入学希望時期欄に○印を必ず付けてください。

また、出願後は、「入学時期の変更」が認められませんので、ご注意ください。

なお、10 月（後期）入学の手続き等について、不明な点がある場合は、教学支援部入試課までお問い合わせください。

9 入学手続

(1) 入学手続の期日(予定)

入学時期	入学手続日
平成 24 年 10 月入学	平成 24 年 9 月 14 日(金)
平成 25 年 4 月入学	平成 25 年 3 月 7 日(木) ～ 3 月 15 日(金)

(2) 納入金は、入学料 282,000 円(予定)です。

①銀行の窓口において、入学料を振込む際には、振込み手続きを行う方（振込名義人に代わって保護者等が行う場合にあつては、当該保護者等）の本人確認書類（運転免許証、健康保険証、パスポートなど）の提示が必要となります。

②入学料は、入学時に改定されることがあります。また、既納の入学料はいかなる理由があつても返還しません。

(3) 入学手続関係書類は、別途通知します。

10 授業料

平成 24 年 10 月入学者は、後期分 267,900 円の予定です。

平成 25 年 4 月入学者は、前期分 267,900 円（年額 535,800 円）の予定です。

- ・授業料は、予定額であり、入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納入金が適用されます。
- ・授業料は原則、口座引き落としとなっています。手続については、別途案内します。

11 その他の経費

学生教育研究災害傷害保険料等の経費が必要です。

12 長期履修制度

本修士課程（工学領域）では、長期履修制度を実施しています。

この制度は、職業を有していること等の理由により学習時間が制限される方のために、標準修業年限（2年）を超えて一定期間（最長4年）にわたり、計画的に教育課程を履修し課程を修了することができる制度です。履修すべき総単位数は、2年で修了するものと同じですから、年間の時間的負担は相当軽減されることになります。

本制度の手続き等については、教学支援部教務課工学部教務グループ（大学院担当）までお問い合わせください。

13 その他

(1) 奨学金を希望する方は、合格者発表後、教学支援部学生支援課（電話 055-220-8053）へお問い合わせください。

(2) 前年度以前の試験問題は、ホームページ (<http://www.yamanashi.ac.jp>) で公表しています。

社会人特別選抜学生募集要項

各種の研究・教育・行政機関又は企業等に勤務する方を対象に、筆記試験を免除して特別選抜による学生募集を実施します。

1 募集人員

専攻等名	募集人員
機械システム工学専攻	若干人
電気電子システム工学専攻	若干人
コンピュータ・メディア工学専攻	若干人
土木環境工学専攻	若干人
応用化学専攻	若干人
生命工学専攻	若干人
持続社会形成専攻	若干人
人間システム工学専攻	若干人
組込み型統合システム開発教育プログラム	若干人
国際流域環境科学特別教育プログラム	若干人

2 出願資格

各種の研究機関、教育機関又は企業等において2年以上（平成25年3月（平成24年10月入学希望者は、平成24年9月）までの間）の勤務経験を有し、次の各号のいずれかに該当する方

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学を卒業した方
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された方
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した方
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方
- (6) 文部科学大臣が大学院の入学に関し、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方（各省庁の「大学校」等を卒業（修了）した方）
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方
- (8) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し所定の単位を優れた成績をもって修得したものと大学院において認めた方
- (9) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方で、入学の時点で22歳に達している方

【注】 上記の(8)又は(9)により入学を志願しようとする方については、事前に出願資格の審査を行いますので、提出書類等について5月16日（水）までに教学支援部入試課に問い合わせてください。

3 出願手続

(1) 出願期間：平成 24 年 6 月 11 日（月）～6 月 15 日（金）（期間厳守）

ア 本要項添付の「出願用封筒」を使用してください。

イ 持参の場合は、出願期間中の毎日 9 時から 16 時 30 分の間に受け付けます。

ウ 郵送の場合は、書留速達郵便とし、6 月 13 日（水）の消印まで有効とします。

(2) 提出先：〒 400-8510 甲府市武田四丁目 4 - 37

山梨大学教学支援部入試課

電話 055-220-8046

4 出願書類等

入学を志願する方は、次の書類等を提出してください。

出願書類等	摘 要
①検定料受付 証明書貼付票 (入学検定料) 30,000 円)	振込手続の際は、必ず銀行等の領収印を押印した「検定料受付証明書」を受領し、出願時に「検定料受付証明書貼付票」に「検定料受付証明書」(原本)を貼り付けて、提出してください。(【入学検定料払込等についての注意事項】参照)
②入学志願票 受 験 票	入学志願票については、別紙様式 1 (裏面にも)に必要事項を記入してください。 写真は、出願前 3 か月以内に撮影した正面上半身無帽のものを指定欄に貼り付けてください。
③成績証明書	出身大学長等が作成したものを提出してください。
④卒業証明書	・出身大学長等が作成したものを提出してください。 ・出願資格の(2)により入学を志願する方は、学位授与証明書を提出してください。
⑤研究計画書	別紙様式 2 を提出してください。
⑥志望理由書	持続社会形成専攻、組込み型統合システム開発教育プログラム、国際流域環境科学特別教育プログラムへ入学を志願する方は、別紙様式 3 を提出してください。(他の専攻は不要です。)
⑦研究業績調書	別紙様式 4 に卒業論文、学術論文等を有する方のみ記入をし、原則として別刷及び業績概要を添付してください。
⑧入 学 願 書 提出者票・ あて名票	本要項添付のものに、必要事項を記入してください。
⑨返信用封筒	本要項添付のものに、あて先を明記し、350 円切手を貼り付けてください。 持参する方は不要です。
⑩そ の 他	改姓により各証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。

【入学検定料払込等についての注意事項】

本要項添付の「指定振込用紙」を使用し、金融機関(銀行又は郵便局)の窓口において振込んでください。

(ATM での振込は不可)

出願書類の提出にあたっては、次の事項に注意してください。

- (1) 出願に先だって、希望する指導教員と事前打合せを十分に行ってください。
(指導教員の連絡先については、教学支援部入試課に照会してください。)
- (2) 出願書類の受付後は、書類の返却及び入学検定料の返還はしません。
- (3) 出願手続等に不明の点があれば、教学支援部入試課に照会してください。
- (4) 出願手続後は、記載事項の変更は認められません。
- (5) 提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。

5 選抜方法

入学者の選抜にあたっては、研究業績（学術論文、研究報告、学会等における発表、卒業論文、著書、特許等）、口述試験（研究計画書に基づく内容等についての試問）の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

また、口頭発表にはOHP原稿又はプレゼンテーション用ソフトウェア(MS-Power Point 等)を用いてください。(プレゼンテーション用ソフトウェア等を利用する方は、ノートパソコンを持参してください。)

なお、電気電子システム工学専攻及びコンピュータ・メディア工学専攻の口頭発表においては、プレゼンテーション用ソフトウェア(MS-Power Point 等)を用いてください。

持続社会形成専攻の口頭発表においては、書画カメラ又はプレゼンテーション用ソフトウェア(MS-Power Point 等)を用いてください。(MS-Power Point 用ファイルはUSBメモリかCDに入れて持参してください。その他のプレゼンテーションソフトウェアを用いたい場合は、ノートパソコンを持参してください。)

・口述試験時間

専攻等名	口頭発表時間	試問時間
機械システム工学専攻	10分	5分
電気電子システム工学専攻	10分	10分
コンピュータ・メディア工学専攻	15分	10分
土木環境工学専攻	10分	5分
応用化学専攻	10分	10分
生命工学専攻	10分	5分
持続社会形成専攻	10分	10分
人間システム工学専攻	10分	10分
組込み型統合システム開発教育プログラム	15分	15分
国際流域環境科学特別教育プログラム	10分	10分

6 試験日時及び場所

(1) 試験日時

機械システム工学専攻、電気電子システム工学専攻、コンピュータ・メディア工学専攻、生命工学専攻、組込み型統合システム開発教育プログラム

試験日	13時30分～
平成24年7月7日(土)	口述試験

土木環境工学専攻、応用化学専攻、持続社会形成専攻、人間システム工学専攻、国際流域環境科学特別教育プログラム

試 験 日	9時30分～
平成24年7月7日(土)	口 述 試 験

(2) 試験場

山梨大学 各専攻会議室等

(志願者には、各専攻等の責任者から別途連絡します。)

7 合格者の発表

合格者の発表は、平成24年7月20日(金)17時ごろ甲府東キャンパスA-2号館正面入り口に掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します(電話等による合否の問い合わせには応じかねます。)

なお、合格者の受験番号をホームページ(<http://www.yamanashi.ac.jp>)にも掲載します。

8 入学時期

平成25年度前期学生募集志願者の入学時期については、志願者が入学時期を選択できます。

出願時に、平成24年10月(後期)又は平成25年4月(前期)入学のいずれかから、自分の希望入学時期を選び、「入学志願票」の入学希望時期欄に○印を必ず付けてください。

また、出願後は、「入学時期の変更」が認められませんので、ご注意ください。

なお、10月(後期)入学の手続き等について、不明な点がある場合は、教学支援部入試課までお問い合わせください。

9 入学手続

(1) 入学手続の期日(予定)

入学時期	入学手続日
平成24年10月入学	平成24年9月14日(金)
平成25年4月入学	平成25年3月7日(木)～3月15日(金)

(2) 納入金は、入学金 282,000 円(予定)です。

①銀行の窓口において、入学金を振込む際には、振込み手続を行う方(振込名義人に代わって保護者等が行う場合にあっては、当該保護者等)の本人確認書類(運転免許証、健康保険証、パスポートなど)の提示が必要となります。

②入学金は、入学時に改定されることがあります。また、既納の入学金はいかなる理由があっても返還しません。

(3) 入学手続関係書類は、別途通知します。

10 授業料

平成24年10月入学者は、後期分267,900円の予定です。

平成25年4月入学者は、前期分267,900円(年額535,800円)の予定です。

- ・授業料は、予定額であり、入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納入金が適用されます。
- ・授業料は原則、口座引き落としとなっています。手続については、別途案内します。

11 その他の経費

学生教育研究災害傷害保険料等の経費が必要です。

12 長期履修制度

本修士課程（工学領域）では、長期履修制度を実施しています。

この制度は、職業を有していること等の理由により学習時間が制限される方のために、標準修業年限（2年）を超えて一定期間（最長4年）にわたり、計画的に教育課程を履修し課程を修了することができる制度です。履修すべき総単位数は、2年で修了するものと同じですから、年間の時間的負担は相当軽減されることになります。

本制度の手続き等については、教学支援部教務課工学部教務グループ（大学院担当）までお問い合わせください。

13 その他

(1) 外国人留学生は、一般選抜試験を受験してください。

(2) 奨学金を希望する方は、合格者発表後、教学支援部学生支援課（電話 055-220-8053）へ問い合わせてください。

社会人特別選抜 1 年コース学生募集要項

各種の研究・教育・行政機関又は企業等に勤務する方を対象に、筆記試験を免除して特別選抜による学生募集を実施します。

1 募集人員

専攻名	募集人員
持続社会形成専攻	2人

(注) 持続社会形成専攻 1 年コースは、1 年間(短期在学)で修士(学術)の学位を取得するコースです。

2 出願資格

各種の研究機関、教育機関、行政機関又は企業等において 2 年以上(平成 25 年 3 月(平成 24 年 10 月入学希望者は、平成 24 年 9 月)までの間)の勤務経験を有し、現在も勤務する方で、入学後もその身分を有し、次の各号のいずれかに該当する方

- (1) 学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)第 83 条に定める大学を卒業した方
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された方
- (3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した方
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した方
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方
- (6) 文部科学大臣が大学院の入学に関し、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方(各省庁の「大学校」等を卒業(修了)した方)
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方
- (8) 大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し所定の単位を優れた成績をもって修得したものと大学院において認めた方
- (9) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方で、入学の時点で 22 歳に達している方

【注】 上記の(8)又は(9)により入学を志願しようとする方については、事前に出願資格の審査を行いますので、提出書類等について 5 月 16 日(水)までに教学支援部入試課に問い合わせてください。

3 出願手続

- (1) 出願期間：平成 24 年 6 月 11 日(月)～6 月 15 日(金)(期間厳守)
 - ア 本要項添付の「出願用封筒」を使用してください。
 - イ 持参の場合は、出願期間中の毎日 9 時から 16 時 30 分の間に受け付けます。
 - ウ 郵送の場合は、書留速達郵便とし、6 月 13 日(水)の消印まで有効とします。

- (2) 提出先：〒 400-8510 甲府市武田四丁目 4-37
山梨大学教学支援部入試課
電話 055-220-8046

4 出願書類等

入学を志願する方は、次の書類等を提出してください。

出願書類等	摘 要
①検定料受付 証明書貼付票 (入学検定料) 30,000 円)	振込手続の際は、必ず銀行等の領収印を押印した「検定料受付証明書」を受領し、出願時に「検定料受付証明書貼付票」に「検定料受付証明書」(原本)を貼り付けて、提出してください。(【入学検定料払込等についての注意事項】参照)
②入学志願票 受 験 票	入学志願票については、別紙様式1(裏面にも)に必要な事項を記入してください。写真は、出願前3か月以内に撮影した正面上半身無帽のものを指定欄に貼り付けてください。
③成績証明書	出身大学長等が作成したものを提出してください。
④卒業証明書	・出身大学長等が作成したものを提出してください。 ・出願資格の(2)により入学を志願する方は、学位授与証明書を提出してください。
⑤研究計画書	別紙様式2を提出してください。 (修士論文の計画及び準備状況を記入してください。)
⑥志望理由書	別紙様式3を提出してください。
⑦研究業績調書	別紙様式4に卒業論文、学術論文等を有する方のみ記入をし、原則として別刷及び業績概要を添付してください。
⑧入 学 願 書 提出者票・ あて名票	本要項添付のものに、必要事項を記入してください。
⑨返信用封筒	本要項添付のものに、あて先を明記し、350円切手を貼り付けてください。 持参する方は不要です。
⑩そ の 他	改姓により各証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。

【入学検定料払込等についての注意事項】

本要項添付の「指定振込用紙」を使用し、金融機関(銀行又は郵便局)の窓口において振込んでください。
(ATMでの振込は不可)

出願書類の提出にあたっては、次の事項に注意してください。

- (1) 出願に先だって、希望する指導教員と事前打合せを十分に行ってください。
(指導教員の連絡先については、教学支援部入試課に照会してください。)
- (2) 出願書類の受付後は、書類の返却及び入学検定料の返還はしません。
- (3) 出願手続等に不明の点があれば、教学支援部入試課に照会してください。
- (4) 出願手続後は、記載事項の変更は認められません。
- (5) 提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。

5 選抜方法

入学者の選抜にあたっては、研究または実務の業績（学術論文、研究報告、学会等における発表、卒業論文、著書、特許等、または企業内実績、教育実績等）および口述試験の結果を総合して判定し、合格者を決定します。

なお、口頭発表には書画カメラ又はプレゼンテーション用ソフトウェア（MS-Power Point 等）を用いてください。（MS-Power Point 用ファイルは USB メモリか CD に入れて持参してください。その他のプレゼンテーションソフトウェアを用いたい場合は、ノートパソコンを持参してください。）

・口述試験時間

専攻名	口頭発表時間	試問時間
持続社会形成専攻	10分	10分

6 試験日時及び場所

(1) 試験日時

試験日	9時30分～
平成24年7月7日(土)	口述試験

(2) 試験場

山梨大学甲府東キャンパス A-2号館2階 工学部会議室
(試験開始20分前までに工学部会議室に集合してください。)

7 合格者の発表

合格者の発表は、平成24年7月20日(金)17時ごろ甲府東キャンパスA-2号館正面入り口に掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します（電話等による合否の問い合わせには応じかねます。）。

なお、合格者の受験番号をホームページ（<http://www.yamanashi.ac.jp>）にも掲載します。

8 入学時期

平成25年度前期学生募集志願者の入学時期については、志願者が入学時期を選択できます。

出願時に、平成24年10月(後期)又は平成25年4月(前期)入学のいずれかから、自分の希望入学時期を選び、「入学志願票」の入学希望時期欄に○印を必ず付けてください。

また、出願後は、「入学時期の変更」が認められませんので、ご注意ください。

なお、10月(後期)入学の手続き等について、不明な点がある場合は、教学支援部入試課までお問い合わせください。

9 入学手続

(1) 入学手続の期日(予定)

入学時期	入学手続日
平成24年10月入学	平成24年9月14日(金)
平成25年4月入学	平成25年3月7日(木)～3月15日(金)

(2) 納入金は、入学金 282,000 円(予定)です。

①銀行の窓口において、入学金を振込む際には、振込み手続を行う方(振込名義人に代わって保護者等が行う場合にあつては、当該保護者等)の本人確認書類(運転免許証、健康保険証、パスポートなど)の提示が必要となります。

②入学金は、入学時に改定されることがあります。また、既納の入学金はいかなる理由があつても返還しません。

(3) 入学手続関係書類は、別途通知します。

10 授業料

平成 24 年 10 月入学者は、後期分 267,900 円の予定です。

平成 25 年 4 月入学者は、前期分 267,900 円（年額 535,800 円）の予定です。

- ・授業料は、予定額であり、入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納入金が適用されます。
- ・授業料は原則、口座引き落としとなっています。手続については、別途案内します。

11 その他の経費

学生教育研究災害傷害保険料等の経費が必要です。

12 その他

- (1) 外国人留学生は、一般選抜試験を受験してください。
- (2) 奨学金を希望する方は、合格者発表後、教学支援部学生支援課（電話 055-220-8053）へ問い合わせてください。

3 後 期 募 集

推薦特別選抜学生募集要項

現在、科学技術の進展と広がり著しく、社会的要請として既存の学問体系の枠を超えた学際的学問分野及び新研究分野の創造が望まれています。

この視点から、本修士課程(工学領域)では、特色ある教育と研究の場の提供をめざして、各専門分野または各専門分野を超えた学問・研究に取り組む積極的、意欲的な学生を対象に口述試験及び出願書類の審査による特別選抜を実施します。

1 募集人員

専攻名	募集人員
生命工学専攻	若干人
人間システム工学専攻	若干人

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する方で、出身大学等において優秀な成績を修め指導教員等から本人の能力について推薦を得られる方、かつ、合格後に入学することを確約できる方

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した方又は平成25年3月(平成25年10月入学希望者は、平成25年9月)までに卒業見込みの方
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された方又は短期大学若しくは高等専門学校の専攻科を平成25年3月(平成25年10月入学希望者は、平成25年9月)までに修了見込みの方で、平成25年3月(平成25年10月入学希望者は、平成25年9月)までに同法の規定により学士の学位を授与される見込みの方
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した方又は平成25年3月(平成25年10月入学希望者は、平成25年9月)までに修了見込みの方
- (4) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方又は平成25年3月(平成25年10月入学希望者は、平成25年9月)までに修了見込みの方
- (5) 文部科学大臣が大学院の入学に関し、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方(各省庁の「大学校」等を卒業(修了)した方)
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方又は平成25年3月(平成25年10月入学希望者は、平成25年9月)までに修了見込みの方
- (7) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し所定の単位を優れた成績をもって修得したものと大学院において認めた方

【注】 上記の(7)により入学を志願しようとする方については、事前に出願資格の審査を行いますので、提出書類等について10月24日(水)までに教学支援部入試課に問い合わせてください。

3 出願手続

- (1) 出願期間：平成24年11月12日(月)～11月16日(金)(期間厳守)
 - ア 本要項添付の「出願用封筒」を使用してください。
 - イ 持参の場合は、出願期間中の毎日9時から16時30分の間に受け付けます。
 - ウ 郵送の場合は、書留速達郵便とし、11月14日(水)の消印まで有効とします。

外国人（留学生）の出願資格の審査

外国人（留学生）で入学を志願する方については、事前に出願資格の審査を行います。

出願資格の審査に必要な出願書類等（入学検定料を除く。）を取りそろえ、10月15日（月）から10月19日（金）までの間に必着するよう教学支援部入試課に提出してください。ただし、郵送の場合は、書留速達郵便とし、10月17日（水）の消印まで有効とします。

なお、出願時点において、「2 出願資格」(1) の出願資格で志願する方（国費、政府派遣、私費を問いません。）については、出願資格の審査を免除します。

また、研究生（国費、政府派遣、私費）及び昨年度までの出願者で、既に本学において事前審査等を受けた方については、免除する場合がありますので、事前に教学支援部入試課にお問い合わせください。

なお、出願資格の審査結果は、11月2日（金）までに通知します。

(2) 提出先：〒400-8510 甲府市武田四丁目4-37

山梨大学教学支援部入試課

電話 055-220-8046

4 出願書類等

入学を志願する方は、次の書類等を提出してください。

出願書類等	摘 要
①検定料受付 証明書貼付票 (入学検定料 30,000円)	振込手続の際は、必ず銀行等の領収印を押印した「検定料受付証明書」を受領し、出願時に「検定料受付証明書貼付票」に「検定料受付証明書」(原本)を貼り付けて、提出してください。(【入学検定料払込等についての注意事項】参照)
②入学志願票 受 験 票	入学志願票については、別紙様式1(裏面にも)に必要な事項を記入してください。写真は、出願前3か月以内に撮影した正面上半身無帽のものを指定欄に貼り付けてください。
③成績証明書	出身大学長等が作成したものを提出してください。
④卒業(見込) 証明書	<ul style="list-style-type: none"> 出身大学長等が作成したものを提出してください。 出願資格の(2)により入学を志願する方は、学位授与証明書・学位授与申請受理証明書(大学評価・学位授与機構が発行したもの)、又は学位授与申請予定証明書(在籍学校長が発行したもの)を提出してください。 本学を卒業見込みの方は不要です。
⑤推 薦 書	<ul style="list-style-type: none"> 出身大学等の指導教員等の推薦書(別紙様式2)を厳封して提出してください。 生命工学専攻では、本学を卒業した方及び卒業見込みの方の場合に、②の入学志願票の指導教員欄の押印をもって、本書類に代えることができます。
⑥志望理由書	別紙様式3を提出してください。
⑦研究計画書	別紙様式4を提出してください。
⑧入 学 願 書 提出者票・ あて名票	本要項添付のものに、必要事項を記入してください。
⑨返信用封筒	本要項添付のものに、あて先を明記し、350円切手を貼り付けてください。持参する方は不要です。
⑩そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 外国人(留学生)で入学を志願する方は、外国人登録証明書又は旅券の写しを提出してください。 改姓により各証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。

【入学検定料払込等についての注意事項】

本要項添付の「指定振込用紙」を使用し、金融機関（銀行又は郵便局）の窓口において振込んでください。
（ATMでの振込は不可）

出願書類の提出にあたっては、次の事項に注意してください。

- (1) 出願に先だって、希望する指導教員と事前打合せを十分に行ってください。
(指導教員の連絡先については、教学支援部入試課に照会してください。)
- (2) 出願書類の受付後は、書類の返却及び入学検定料の返還はしません。
- (3) 出願手続等に不明の点があれば、教学支援部入試課に照会してください。
- (4) 出願手続後は、記載事項の変更は認められません。
- (5) 提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- (6) 外国人(留学生)の提出書類中、英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。

5 選抜方法

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 口述試験

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容に関して試問します。

なお、口頭発表にはOHP原稿又はプレゼンテーション用ソフトウェア(MS-Power Point等)を用いてください。
(プレゼンテーション用ソフトウェア等を利用する方は、ノートパソコンを持参してください。)

・口述試験時間

専 攻 名	口頭発表時間	試問時間
生命工学専攻	10分	5分
人間システム工学専攻	10分	5分

(2) 出願書類の審査

6 試験日時及び場所

(1) 試験日時

生命工学専攻、人間システム工学専攻

試 験 日	9時30分～
平成24年12月1日(土)	口 述 試 験

(2) 試験場：山梨大学 各専攻会議室等

(試験開始20分前までに甲府東キャンパスA-2号館1階ロビーに集合してください。)

7 合格者の発表

合格者の発表は、平成24年12月14日(金)17時ごろ甲府東キャンパスA-2号館正面入り口に掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します(電話等による合否の問い合わせには応じかねます。)

なお、合格者の受験番号をホームページ(<http://www.yamanashi.ac.jp>)にも掲載します。

8 入学時期

平成 25 年度後期学生募集志願者の入学時期については、志願者が入学時期を選択できます。

出願時に、平成 25 年 4 月（前期）又は平成 25 年 10 月（後期）入学のいずれかから、自分の希望入学時期を選び、「入学志願票」の入学希望時期欄に○印を必ず付けてください。

また、出願後は、「入学時期の変更」が認められませんので、ご注意ください。

なお、10 月（後期）入学の手続き等について、不明な点がある場合は、教学支援部入試課までお問い合わせください。

9 入学手続

(1) 入学手続の期日(予定)

入学時期	入学手続日
平成 25 年 4 月入学	平成 25 年 3 月 7 日(木) ～ 3 月 15 日(金)
平成 25 年 10 月入学	平成 25 年 9 月 13 日(金)

(2) 納入金は、入学料 282,000 円(予定)です。

①銀行の窓口において、入学料を振込む際には、振込み手続きを行う方（振込名義人に代わって保護者等が行う場合にあっては、当該保護者等）の本人確認書類（運転免許証、健康保険証、パスポートなど）の提示が必要となります。

②入学料は、入学時に改定されることがあります。また、既納の入学料はいかなる理由があっても返還しません。

(3) 入学手続関係書類は、別途通知します。

10 授業料

平成 25 年 4 月入学者は、前期分 267,900 円（年額 535,800 円）の予定です。

平成 25 年 10 月入学者は、後期分 267,900 円の予定です。

- ・授業料は、予定額であり、入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納入金が適用されます。
- ・授業料は原則、口座引き落としとなっています。手続については、別途案内します。

11 その他の経費

学生教育研究災害傷害保険料等の経費が必要です。

12 その他

奨学金を希望する方は、合格者発表後、教学支援部学生支援課（電話 055-220-8053）へお問い合わせください。

自己推薦特別選抜学生募集要項

本修士課程(工学領域)では、特色ある教育と研究の場を学外にも門戸を広げて提供することをめざして、各専門分野または各専門分野を超えた学問・研究に意欲的に励むことができ、かつ今後の積極的な研究学習の取り組みに対して特に明確な自己推薦ができる学生を対象に口述試験及び出願書類の審査による特別選抜を実施します。

1 募集人員

専攻名	募集人員
生命工学専攻ワイン科学コース(ワイン人材生涯養成拠点)	若干人

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する方、かつ、合格後に入学することを確約できる方

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した方又は平成25年3月(平成25年10月入学希望者は、平成25年9月)までに卒業見込みの方
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された方又は短期大学若しくは高等専門学校の専攻科を平成25年3月(平成25年10月入学希望者は、平成25年9月)までに修了見込みの方で、平成25年3月(平成25年10月入学希望者は、平成25年9月)までに同法の規定により学士の学位を授与される見込みの方
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した方又は平成25年3月(平成25年10月入学希望者は、平成25年9月)までに修了見込みの方
- (4) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方又は平成25年3月(平成25年10月入学希望者は、平成25年9月)までに修了見込みの方
- (5) 文部科学大臣が大学院の入学に関し、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方(各省庁の「大学校」等を卒業(修了)した方)
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方又は平成25年3月(平成25年10月入学希望者は、平成25年9月)までに修了見込みの方
- (7) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し所定の単位を優れた成績をもって修得したものと大学院において認めた方

[注] 上記の(7)により入学を志願しようとする方については、事前に出願資格の審査を行いますので、提出書類等について10月24日(水)までに教学支援部入試課にお問い合わせください。

3 出願手続

- (1) 出願期間：平成24年11月12日(月)～11月16日(金)(期間厳守)
 - ア 本要項添付の「出願用封筒」を使用してください。
 - イ 持参の場合は、出願期間中の毎日9時から16時30分の間に受け付けます。
 - ウ 郵送の場合は、書留速達郵便とし、11月14日(水)の消印まで有効とします。

外国人(留学生)の出願資格の審査

外国人(留学生)で入学を志願する方については、事前に出願資格の審査を行います。

出願資格の審査に必要な出願書類等(入学検定料を除く。)を取りそろえ、10月15日(月)から10月19日(金)までの間に必着するよう教学支援部入試課に提出してください。ただし、郵送の場合は、書留速達郵便とし、10月17日(水)の消印まで有効とします。

なお、出願時点において、「2 出願資格」(1)の出願資格で志願する方(国費、政府派遣、私費を問いません。)については、出願資格の審査を免除します。

また、研究生(国費、政府派遣、私費)及び昨年度までの出願者で、既に本学において事前審査等を受けた方については、免除する場合がありますので、事前に教学支援部入試課にお問い合わせください。

なお、出願資格の審査結果は、11月2日(金)までに通知します。

- (2) 提出先：〒 400-8510 甲府市武田四丁目 4 - 37
 山梨大学教学支援部入試課
 電話 055-220-8046

4 出願書類等

入学を志願する方は、次の書類等を提出してください。

出願書類等	摘 要
①検定料受付 証明書貼付票 (入学検定料) (30,000 円)	振込手続の際は、必ず銀行等の領収印を押印した「検定料受付証明書」を受領し、出願時に「検定料受付証明書貼付票」に「検定料受付証明書」(原本)を貼り付けて、提出してください。(【入学検定料払込等についての注意事項】参照)
②入学志願票 受 験 票	入学志願票については、別紙様式 1 (裏面にも) に必要事項を記入してください。 写真は、出願前 3 か月以内に撮影した正面上半身無帽のものを指定欄に貼り付けてください。
③成績証明書	出身大学長等が作成したものを提出してください。
④卒業 (見込) 証明書	<ul style="list-style-type: none"> 出身大学長等が作成したものを提出してください。 出願資格の(2)により入学を志願する方は、学位授与証明書・学位授与申請受理証明書 (大学評価・学位授与機構が発行したもの)、又は学位授与申請予定証明書 (在籍学校長が発行したもの) を提出してください。 本学を卒業見込みの方は不要です。
⑤自己推薦書	別紙様式 2 を提出してください。
⑥志望理由書	別紙様式 3 を提出してください。
⑦研究計画書	別紙様式 4 を提出してください。
⑧入 学 願 書 提出者票・ あて名票	本要項添付のものに、必要事項を記入してください。
⑨返信用封筒	本要項添付のものに、あて先を明記し、350 円切手を貼り付けてください。 持参する方は不要です。
⑩そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 外国人 (留学生) で入学を志願する方は、外国人登録証明書又は旅券の写しを提出してください。 改姓により各証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。

【入学検定料払込等についての注意事項】

本要項添付の「指定振込用紙」を使用し、金融機関 (銀行又は郵便局) の窓口において振込んでください。
 (ATM での振込は不可)

出願書類の提出にあたっては、次の事項に注意してください。

- (1) 出願に先だって、希望する指導教員と事前打合せを十分に行ってください。
(指導教員の連絡先については、教学支援部入試課に照会してください。)
- (2) 出願書類の受付後は、書類の返却及び入学検定料の返還はしません。
- (3) 出願手続等に不明の点があれば、教学支援部入試課に照会してください。
- (4) 出願手続後は、記載事項の変更は認められません。
- (5) 提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- (6) 外国人 (留学生) の提出書類中、英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。

5 選抜方法

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 口述試験

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容に関して試問します。

目的意識、勉学意識、論理的思考力、基礎的素養、大学等学部で学習した成果などに着目して総合的に評価します。

なお、口頭発表にはOHP原稿又はプレゼンテーション用ソフトウェア(MS-Power Point等)を用いてください。

(プレゼンテーション用ソフトウェア等を利用する方は、ノートパソコンを持参してください。)

・口述試験時間

専攻名	口頭発表時間	試問時間
生命工学専攻ワイン科学コース (ワイン人材生涯養成拠点)	10分	10分

(2) 出願書類の審査

6 試験日時及び場所

(1) 試験日時

生命工学専攻ワイン科学コース(ワイン人材生涯養成拠点)

試験日	試験時間
平成24年12月1日(土)	9時00分～ 口述試験

(2) 試験場：山梨大学大学院医学工学総合研究部附属ワイン科学研究センター1階講義室 (試験開始20分前までにワイン科学研究センター1階会議室に集合してください。)

7 合格者の発表

合格者の発表は、平成24年12月14日(金)17時ごろ甲府東キャンパスA-2号館正面入り口に掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します(電話等による合否の問い合わせには応じかねます。)

なお、合格者の受験番号をホームページ(<http://www.yamanashi.ac.jp>)にも掲載します。

8 入学時期

平成25年度後期学生募集志願者の入学時期については、志願者が入学時期を選択できます。

出願時に、平成25年4月(前期)又は平成25年10月(後期)入学のいずれかから、自分の希望入学時期を選び、「入学志願票」の入学希望時期欄に○印を必ず付けてください。

また、出願後は、「入学時期の変更」が認められませんので、ご注意ください。

なお、10月(後期)入学の手続き等について、不明な点がある場合は、教学支援部入試課までお問い合わせください。

9 入学手続

(1) 入学手続の期日(予定)

入学時期	入学手続日
平成25年4月入学	平成25年3月7日(木)～3月15日(金)
平成25年10月入学	平成25年9月13日(金)

(2) 納入金は、入学金 282,000 円(予定)です。

①銀行の窓口において、入学金を振込む際には、振込み手続を行う方(振込名義人に代わって保護者等が行う場合にあつては、当該保護者等)の本人確認書類(運転免許証、健康保険証、パスポートなど)の提示が必要となります。

②入学金は、入学時に改定されることがあります。また、既納の入学金はいかなる理由があつても返還しません。

(3) 入学手続関係書類は、別途通知します。

10 授 業 料

平成 25 年 4 月入学者は、前期分 267,900 円（年額 535,800 円）の予定です。

平成 25 年 10 月入学者は、後期分 267,900 円の予定です。

- ・授業料は、予定額であり、入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納入金が適用されます。
- ・授業料は原則、口座引き落としとなっています。手続については、別途案内します。

11 その他の経費

学生教育研究災害傷害保険料等の経費が必要です。

12 そ の 他

奨学金を希望する方は、合格者発表後、教学支援部学生支援課（電話 055-220-8053）へ問い合わせてください。

一般選抜学生募集要項

1 募集人員

専攻等名	募集人員
機械システム工学専攻	若干人
電気電子システム工学専攻	若干人
コンピュータ・メディア工学専攻	若干人
土木環境工学専攻	若干人
応用化学専攻	若干人
生命工学専攻	若干人
持続社会形成専攻	若干人
人間システム工学専攻	若干人
組込み型統合システム開発教育プログラム	若干人
国際流域環境科学特別教育プログラム	若干人
グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム 〔博士課程教育リーディングプログラム(5年一貫)〕	若干人

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する方

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した方又は平成25年3月(平成25年10月入学希望者は、平成25年9月)までに卒業見込みの方
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された方又は短期大学若しくは高等専門学校の専攻科を平成25年3月(平成25年10月入学希望者は、平成25年9月)までに修了見込みの方で、平成25年3月(平成25年10月入学希望者は、平成25年9月)までに同法の規定により学士の学位を授与される見込みの方
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した方又は平成25年3月(平成25年10月入学希望者は、平成25年9月)までに修了見込みの方
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方又は平成25年3月(平成25年10月入学希望者は、平成25年9月)までに修了見込みの方
- (6) 文部科学大臣が大学院の入学に関し、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方(各省庁の「大学校」等を卒業(修了)した方)
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方又は平成25年3月(平成25年10月入学希望者は、平成25年9月)までに修了見込みの方
- (8) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し所定の単位を優れた成績をもって修得したものと大学院において認めた方
- (9) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方で、入学の時点で22歳に達している方

【注】 上記の(8)又は(9)により入学を志願しようとする方については、事前に出願資格の審査を行いますので、提出書類等について10月24日(水)までに教学支援部入試課に問い合わせてください。

3 出願手続

(1) 出願期間：平成 24 年 11 月 12 日(月)～11 月 16 日(金)(期間厳守)

ア 本要項添付の「出願用封筒」を使用してください。

イ 持参の場合は、出願期間中の毎日 9 時から 16 時 30 分の間に受け付けます。

ウ 郵送の場合は、書留速達郵便とし、11 月 14 日(水)の消印まで有効とします。

外国人(留学生)の出願資格の審査

外国人(留学生)で入学を志願する方については、事前に出願資格の審査を行います。

出願資格の審査に必要な出願書類等(入学検定料を除く。)を取りそろえ、10 月 15 日(月)から 10 月 19 日(金)までの間に必着するよう教学支援部入試課に提出してください。ただし、郵送の場合は、書留速達郵便とし、10 月 17 日(水)の消印まで有効とします。

なお、出願時点において、「2 出願資格」(1)の出願資格で志願する方(国費、政府派遣、私費を問いません。)については、出願資格の審査を免除します。

また、研究生(国費、政府派遣、私費)及び昨年度までの出願者で、既に本学において事前審査等を受けた方については、免除する場合がありますので、事前に教学支援部入試課にお問い合わせください。

なお、出願資格の審査結果は、11 月 2 日(金)までに通知します。

(2) 提出先：〒 400-8510 甲府市武田四丁目 4-37

山梨大学教学支援部入試課

電話 055-220-8046

4 出願書類等

入学を志願する方は、次の書類等を提出してください。

出願書類等	摘 要
①検定料受付 証明書貼付票 (入学検定料) (30,000円)	振込手続の際は、必ず銀行等の領収印を押印した「検定料受付証明書」を受領し、出願時に「検定料受付証明書貼付票」に「検定料受付証明書」(原本)を貼り付けて、提出してください。(【入学検定料払込等についての注意事項】参照)
②入学志願票 受験票	入学志願票については、別紙様式1(裏面にも)に必要事項を記入してください。 写真は、出願前3か月以内に撮影した正面上半身無帽のものを指定欄に貼り付けてください。
③成績証明書	出身大学長等が作成したものを提出してください。
④卒業(見込) 証明書	<ul style="list-style-type: none"> 出身大学長等が作成したものを提出してください。 出願資格の(2)により入学を志願する方は、学位授与証明書・学位授与申請受理証明書(大学評価・学位授与機構が発行したもの)、又は学位授与申請予定証明書(在籍学校長が発行したもの)を提出してください。 本学を卒業見込みの方は不要です。
⑤志望理由書	機械システム工学専攻、電気電子システム工学専攻、コンピュータ・メディア工学専攻、土木環境工学専攻、応用化学専攻、持続社会形成専攻、人間システム工学専攻、組み込み型統合システム開発教育プログラム、国際流域環境科学特別教育プログラム、グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラムへ入学を志願する方は、別紙様式2を提出してください。(生命工学専攻は不要です。)
⑥研究計画書	機械システム工学専攻、電気電子システム工学専攻、コンピュータ・メディア工学専攻、土木環境工学専攻、応用化学専攻、持続社会形成専攻、人間システム工学専攻、組み込み型統合システム開発教育プログラム、国際流域環境科学特別教育プログラム、グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラムへ入学を志願する方は、別紙様式3を提出してください。(生命工学専攻は不要です。)
⑦入学願書 提出者票・ あて名票	本要項添付のものに、必要事項を記入してください。
⑧返信用封筒	本要項添付のものに、あて先を明記し、350円切手を貼り付けてください。 持参する方は不要です。
⑨そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 外国人(留学生)で入学を志願する方は、外国人登録証明書又は旅券の写しを提出してください。 改姓により各証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。

【入学検定料払込等についての注意事項】

本要項添付の「指定振込用紙」を使用し、金融機関(銀行又は郵便局)の窓口において振込んでください。
(ATMでの振込は不可)

出願書類の提出にあたっては、次の事項に注意してください。

- (1) 出願に先だって、希望する指導教員と事前打合せを十分に行ってください。
(指導教員の連絡先については、教学支援部入試課に照会してください。)
- (2) 出願書類の受付後は、書類の返却及び入学検定料の返還はしません。
- (3) 出願手続等に不明の点があれば、教学支援部入試課に照会してください。
- (4) 出願手続後は、記載事項の変更は認められません。

- (5) 提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- (6) 外国人(留学生)の提出書類中、英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。

5 選抜方法

各専攻・教育プログラムの選抜方法については、次の事項に注意してください。

- (1) 出願書類の受付後は、志望専攻・教育プログラム及び受験科目の変更は認めません。
- (2) 専門科目の筆記試験においては、電卓を使用することが可能です。
- (3) 辞書及び参考書等の持ち込みは一切認めません。

<機械システム工学専攻>

入学者の選抜にあたっては、口述試験、出身大学等学部の成績証明書等の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

- ・口述試験(口頭発表時間 10 分、試問時間 10 分)

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容に関して試問します。

(注) 口頭発表にはプレゼンテーション用ソフトウェア (MS-Power Point 等) を用いてください。

(ノートパソコンを持参してください。)

<電気電子システム工学専攻>

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

- ・口述試験(口頭発表時間 10 分、試問時間 10 分)

志望理由及び入学後の研究計画について、10 分間で口頭発表してください。口頭発表の内容、及び関連する基礎学力・専門知識等に関して試問します。

(注) 口頭発表にはプレゼンテーション用ソフトウェア (MS-Power Point 等) を用いてください。

(プレゼンテーション用ソフトウェア等を利用する方は、ノートパソコンを持参してください。)

<コンピュータ・メディア工学専攻>

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。(出願書類の審査結果により口述試験を免除する場合があります。その場合は事前に連絡します。)

- ・口述試験(口頭発表時間 20 分、試問時間 20 分)

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容に関して試問します。志望理由書と研究計画書は、技術的観点を中心にして論理的に展開して記述してください。

(注) 口頭発表にはプレゼンテーション用ソフトウェア (MS-Power Point 等) を用いてください。

(ノートパソコンを持参してください。)

<土木環境工学専攻>

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

- ・口述試験(口頭発表時間 10 分、試問時間 10 分)

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容及び専門科目等に関連して試問します。

(注) 口頭発表には OHP 原稿又はプレゼンテーション用ソフトウェア (MS-Power Point 等) を用いてください。

(プレゼンテーション用ソフトウェア等を利用する方は、ノートパソコンを持参してください。)

<応用化学専攻>

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

- ・口述試験(口頭発表時間5分、試問時間10分)

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容及び専門科目等に関連して試問します。

(注) 口頭発表にはOHP原稿又はプレゼンテーション用ソフトウェア(MS-Power Point等)を用いてください。

(プレゼンテーション用ソフトウェア等を利用する方は、ノートパソコンを持参してください。)

<生命工学専攻>

入学者の選抜にあたっては、筆記試験、口述試験、出身大学等学部の成績証明書等の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

- (1) 筆記試験(専門科目)

微生物学、生化学、有機化学、生物化学工学の4科目のうちから2科目を出願時に選択する。

- (2) 筆記試験(外国語)

試験科目は英語とします。

ただし、外国人(留学生)に対する科目は日本語又は英語とします。

出題内容は専門科目に関連したものです。

- (3) 口述試験(口頭発表時間10分、試問時間5分)

専門科目等に関連して試問します。

<持続社会形成専攻>

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

- ・口述試験(口頭発表時間10分、試問時間10分)

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容に関して試問します。

(注) 口頭発表には書画カメラ又はプレゼンテーション用ソフトウェア(MS-Power Point等)を用いてください。

(MS-Power Point用ファイルはUSBメモリかCDに入れて持参してください。その他のプレゼンテーションソフトウェアを用いたい場合は、ノートパソコンを持参してください。)

<人間システム工学専攻>

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

- ・口述試験(口頭発表時間10分、試問時間10分)

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容に関して試問します。

(注) 口頭発表にはOHP原稿又はプレゼンテーション用ソフトウェア(MS-Power Point等)を用いてください。

(プレゼンテーション用ソフトウェア等を利用する方は、ノートパソコンを持参してください。)

<組込み型統合システム開発教育プログラム>

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。(出願書類の審査結果により口述試験を免除する場合があります。その場合は事前に連絡します。)

- ・口述試験(口頭発表時間 15 分、試問時間 15 分)

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容に関して試問します。

(注) 口頭発表にはOHP原稿又はプレゼンテーション用ソフトウェア(MS-Power Point 等)を用いてください。

(プレゼンテーション用ソフトウェア等を利用する方は、ノートパソコンを持参してください。)

<国際流域環境科学特別教育プログラム>

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

- ・口述試験(口頭発表時間 10 分、試問時間 10 分)

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容に関して試問します。

(注) 口頭発表にはOHP原稿又はプレゼンテーション用ソフトウェア(MS-Power Point 等)を用いてください。

(プレゼンテーション用ソフトウェア等を利用する方は、ノートパソコンを持参してください。)

<グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム>

入学者の選抜にあたっては、筆記試験、口述試験、出身大学等学部の成績証明書等の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

- (1) 筆記試験(基礎及び専門科目)

(基礎及び専門科目)

出願時に下記の科目群Ⅰ～Ⅲのうちから1つの科目群を申し出てください。

科目群Ⅰ：化学A、化学B

科目群Ⅱ：物理、機械材料学

科目群Ⅲ：物理、電磁気学・電子物性

(注)

1. 化学Aの出題内容は、熱力学、相平衡、化学反応速度、原子と分子の電子構造などです。
2. 化学Bの出題内容は、分光・回折、結晶構造、無機材料の電子構造と性質、電解質溶液、化学電池などです。
3. 物理の出題内容は、力と運動の分野で、簡単な微分方程式の内容を含みます。
4. 機械材料学の出題内容は、結晶の構造と欠陥、状態図と組織、材料の変形と加工などです。
5. 電磁気学・電子物性の出題内容は、静電界・静磁界、電磁誘導、エネルギーバンド、キャリアの運動などです。

- (2) 筆記試験(外国語)

試験科目は英語とします。

ただし、外国人(留学生)に対する科目は日本語又は英語とします。

出題内容は専門科目に関連したものです。

- (3) 口述試験(口頭発表時間 10 分、試問時間 10 分)

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表及び発表内容に関連して試問します。

(注) 口頭発表にはOHP原稿又はプレゼンテーション用コンピュータソフトウェア(MS-Power Point 等)を用いてください。

(プレゼンテーション用コンピュータソフトウェア等を利用する方は、ノートパソコンを持参してください。)

6 試験日時及び場所

(1) 試験日時

機械システム工学専攻、電気電子システム工学専攻、コンピュータ・メディア工学専攻、土木環境工学専攻、応用化学専攻、持続社会形成専攻、人間システム工学専攻、組込み型統合システム開発教育プログラム、国際流域環境科学特別教育プログラム

試験日	9時30分～
平成24年12月1日(土)	口述試験

生命工学専攻

試験日	9時30分～12時	13時30分～
平成24年12月1日(土)	筆記試験 (専門科目及び外国語)	口述試験

グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム

試験日	9時30分～11時30分	11時40分～12時30分	13時30分～
平成24年12月1日(土)	筆記試験 (基礎及び専門科目)	筆記試験 (外国語)	口述試験

(2) 試験場

(集合場所は下記のとおりですが、詳細については各専攻等から別途連絡いたします。)

①生命工学専攻：山梨大学 専攻会議室等

(試験開始20分前までに甲府東キャンパス T-1号館8階804会議室に集合してください。)

②機械システム工学専攻、電気電子システム工学専攻、コンピュータ・メディア工学専攻、土木環境工学専攻、人間システム工学専攻、組込み型統合システム開発教育プログラム、国際流域環境科学特別教育プログラム：

山梨大学 各専攻会議室等

(試験開始20分前までに甲府東キャンパスA-2号館1階ロビーに集合してください。)

③応用化学専攻：山梨大学甲府西キャンパス 総合研究棟内

(試験開始20分前までに総合研究棟1階ロビーに集合してください。)

④持続社会形成専攻：山梨大学甲府東キャンパス A-2号館2階 工学部会議室

(試験開始20分前までに工学部会議室に集合してください。)

⑤グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム：山梨大学甲府東キャンパス B-2号館1階 B2-11教室

(試験開始20分前までにB2-11教室に集合してください。)

7 合格者の発表

合格者の発表は、平成24年12月14日(金)17時ごろ甲府東キャンパスA-2号館正面入り口に掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します(電話等による合否の問い合わせには応じかねます。)

なお、合格者の受験番号をホームページ(<http://www.yamanashi.ac.jp>)にも掲載します。

8 入学時期

平成 25 年度後期学生募集志願者の入学時期については、志願者が入学時期を選択できます。

出願時に、平成 25 年 4 月（前期）又は平成 25 年 10 月（後期）入学のいずれかから、自分の希望入学時期を選び、「入学志願票」の入学希望時期欄に○印を必ず付けてください。

また、出願後は、「入学時期の変更」が認められませんので、ご注意ください。

なお、10 月（後期）入学の手続き等について、不明な点がある場合は、教学支援部入試課までお問い合わせください。

9 入学手続

(1) 入学手続の期日（予定）

入学時期	入学手続日
平成 25 年 4 月入学	平成 25 年 3 月 7 日(木) ～ 3 月 15 日(金)
平成 25 年 10 月入学	平成 25 年 9 月 13 日(金)

(2) 納入金は、入学料 282,000 円（予定）です。

①銀行の窓口において、入学料を振込む際には、振込み手続きを行う方（振込名義人に代わって保護者等が行う場合にあつては、当該保護者等）の本人確認書類（運転免許証、健康保険証、パスポートなど）の提示が必要となります。

②入学料は、入学時に改定されることがあります。また、既納の入学料はいかなる理由があつても返還しません。

(3) 入学手続関係書類は、別途通知します。

10 授業料

平成 25 年 4 月入学者は、前期分 267,900 円（年額 535,800 円）の予定です。

平成 25 年 10 月入学者は、後期分 267,900 円の予定です。

- ・授業料は、予定額であり、入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納入金が適用されます。
- ・授業料は原則、口座引き落としとなっています。手続については、別途案内します。

11 その他の経費

学生教育研究災害傷害保険料等の経費が必要です。

12 長期履修制度

本修士課程（工学領域）では、長期履修制度を実施しています。

この制度は、職業を有していること等の理由により学習時間が制限される方のために、標準修業年限（2 年）を超えて一定期間（最長 4 年）にわたり、計画的に教育課程を履修し課程を修了することができる制度です。履修すべき総単位数は、2 年で修了するものと同じですから、年間の時間的負担は相当軽減されることになります。

本制度の手続き等については、教学支援部教務課工学部教務グループ（大学院担当）までお問い合わせください。

13 その他

(1) 奨学金を希望する方は、合格者発表後、教学支援部学生支援課（電話 055-220-8053）へお問い合わせください。

(2) 前年度以前の試験問題は、ホームページ (<http://www.yamanashi.ac.jp>) で公表しています。

社会人特別選抜学生募集要項

各種の研究・教育・行政機関又は企業等に勤務する方を対象に、筆記試験を免除して特別選抜による学生募集を実施します。

1 募集人員

専攻等名	募集人員
機械システム工学専攻	若干人
電気電子システム工学専攻	若干人
コンピュータ・メディア工学専攻	若干人
土木環境工学専攻	若干人
応用化学専攻	若干人
生命工学専攻	若干人
持続社会形成専攻	若干人
人間システム工学専攻	若干人
組込み型統合システム開発教育プログラム	若干人
国際流域環境科学特別教育プログラム	若干人

2 出願資格

各種の研究機関、教育機関又は企業等において2年以上（平成25年3月（平成25年10月入学希望者は、平成25年9月）までの間）の勤務経験を有し、次の各号のいずれかに該当する方

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学を卒業した方
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された方
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した方
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方
- (6) 文部科学大臣が大学院の入学に関し、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方（各省庁の「大学校」等を卒業（修了）した方）
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方
- (8) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し所定の単位を優れた成績をもって修得したものと大学院において認めた方
- (9) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方で、入学の時点で22歳に達している方

【注】 上記の(8)又は(9)により入学を志願しようとする方については、事前に出願資格の審査を行いますので、提出書類等について10月24日（水）までに教学支援部入試課に問い合わせてください。

3 出願手続

(1) 出願期間：平成 24 年 11 月 12 日（月）～ 11 月 16 日（金）（期間厳守）

ア 本要項添付の「出願用封筒」を使用してください。

イ 持参の場合は、出願期間中の毎日 9 時から 16 時 30 分の間に受け付けます。

ウ 郵送の場合は、書留速達郵便とし、11 月 14 日（水）の消印まで有効とします。

(2) 提出先：〒 400-8510 甲府市武田四丁目 4 - 37

山梨大学教学支援部入試課

電話 055-220-8046

4 出願書類等

入学を志願する方は、次の書類等を提出してください。

出願書類等	摘 要
①検定料受付 証明書貼付票 (入学検定料) (30,000 円)	振込手続の際は、必ず銀行等の領収印を押印した「検定料受付証明書」を受領し、出願時に「検定料受付証明書貼付票」に「検定料受付証明書」(原本)を貼り付けて、提出してください。(【入学検定料払込等についての注意事項】参照)
②入学志願票 受 験 票	入学志願票については、別紙様式 1 (裏面にも)に必要事項を記入してください。 写真は、出願前 3 か月以内に撮影した正面上半身無帽のものを指定欄に貼り付けてください。
③成績証明書	出身大学長等が作成したものを提出してください。
④卒業証明書	・出身大学長等が作成したものを提出してください。 ・出願資格の(2)により入学を志願する方は、学位授与証明書を提出してください。
⑤研究計画書	別紙様式 2 を提出してください。
⑥志望理由書	持続社会形成専攻、組込み型統合システム開発教育プログラム、国際流域環境科学特別教育プログラムへ入学を志願する方は、別紙様式 3 を提出してください。(他の専攻は不要です。)
⑦研究業績調書	別紙様式 4 に卒業論文、学術論文等を有する方のみ記入をし、原則として別刷及び業績概要を添付してください。
⑧入 学 願 書 提出者票・ あて名票	本要項添付のものに、必要事項を記入してください。
⑨返信用封筒	本要項添付のものに、あて先を明記し、350 円切手を貼り付けてください。 持参する方は不要です。
⑩そ の 他	改姓により各証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。

【入学検定料払込等についての注意事項】

本要項添付の「指定振込用紙」を使用し、金融機関(銀行又は郵便局)の窓口において振込んでください。

(ATM での振込は不可)

出願書類の提出にあたっては、次の事項に注意してください。

(1) 出願に先だって、希望する指導教員と事前打合せを十分に行ってください。

(指導教員の連絡先については、教学支援部入試課に照会してください。)

- (2) 出願書類の受付後は、書類の返却及び入学検定料の返還はしません。
- (3) 出願手続等に不明の点があれば、教学支援部入試課に照会してください。
- (4) 出願手続後は、記載事項の変更は認められません。
- (5) 提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。

5 選抜方法

入学者の選抜にあたっては、研究業績（学術論文、研究報告、学会等における発表、卒業論文、著書、特許等）、口述試験（研究計画書に基づく内容等についての試問）の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

また、口頭発表にはOHP原稿又はプレゼンテーション用ソフトウェア（MS-Power Point 等）を用いてください。（プレゼンテーション用ソフトウェア等を利用する方は、ノートパソコンを持参してください。）

なお、電気電子システム工学専攻及びコンピュータ・メディア工学専攻の口頭発表においては、プレゼンテーション用ソフトウェア（MS-Power Point 等）を用いてください。

持続社会形成専攻の口頭発表においては、書画カメラ又はプレゼンテーション用ソフトウェア（MS-Power Point 等）を用いてください。（MS-Power Point 用ファイルはUSBメモリかCDに入れて持参してください。その他のプレゼンテーション用ソフトウェアを用いたい場合は、ノートパソコンを持参してください。）

・口述試験時間

専攻等名	口頭発表時間	試問時間
機械システム工学専攻	10分	5分
電気電子システム工学専攻	10分	10分
コンピュータ・メディア工学専攻	15分	10分
土木環境工学専攻	10分	5分
応用化学専攻	10分	10分
生命工学専攻	10分	5分
持続社会形成専攻	10分	10分
人間システム工学専攻	10分	10分
組込み型統合システム開発教育プログラム	15分	15分
国際流域環境科学特別教育プログラム	10分	10分

6 試験日時及び場所

(1) 試験日時

機械システム工学専攻、土木環境工学専攻、応用化学専攻、持続社会形成専攻、人間システム工学専攻、国際流域環境科学特別教育プログラム

試験日	9時30分～
平成24年12月1日（土）	口述試験

電気電子システム工学専攻、コンピュータ・メディア工学専攻、生命工学専攻、組込み型統合システム開発教育プログラム

試験日	13時30分～
平成24年12月1日（土）	口述試験

(2) 試験場

山梨大学 各専攻会議室等

(志願者には、各専攻等の責任者から別途連絡します。)

7 合格者の発表

合格者の発表は、平成 24 年 12 月 14 日(金)17 時ごろ甲府東キャンパス A-2 号館正面入り口に掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します(電話等による合否の問い合わせには応じかねます。)

なお、合格者の受験番号をホームページ(<http://www.yamanashi.ac.jp>)にも掲載します。

8 入学時期

平成 25 年度後期学生募集志願者の入学時期については、志願者が入学時期を選択できます。

出願時に、平成 25 年 4 月(前期)又は平成 25 年 10 月(後期)入学のいずれかから、自分の希望入学時期を選び、「入学志願票」の入学希望時期欄に○印を必ず付けてください。

また、出願後は、「入学時期の変更」が認められませんので、ご注意ください。

なお、10 月(後期)入学の手続き等について、不明な点がある場合は、教学支援部入試課までお問い合わせください。

9 入学手続

(1) 入学手続の期日(予定)

入学時期	入学手続日
平成 25 年 4 月入学	平成 25 年 3 月 7 日(木) ~ 3 月 15 日(金)
平成 25 年 10 月入学	平成 25 年 9 月 13 日(金)

(2) 納入金は、入学金 282,000 円(予定)です。

①銀行の窓口において、入学金を振込む際には、振込み手続きを行う方(振込名義人に代わって保護者等が行う場合にあつては、当該保護者等)の本人確認書類(運転免許証、健康保険証、パスポートなど)の提示が必要となります。

②入学金は、入学時に改定されることがあります。また、既納の入学金はいかなる理由があっても返還しません。

(3) 入学手続関係書類は、別途通知します。

10 授業料

平成 25 年 4 月入学者は、前期分 267,900 円(年額 535,800 円)の予定です。

平成 25 年 10 月入学者は、後期分 267,900 円の予定です。

- ・授業料は、予定額であり、入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納入金が適用されます。
- ・授業料は原則、口座引き落としとなっています。手続については、別途案内します。

11 その他の経費

学生教育研究災害傷害保険料等の経費が必要です。

12 長期履修制度

本修士課程（工学領域）では、長期履修制度を実施しています。

この制度は、職業を有していること等の理由により学習時間が制限される方のために、標準修業年限（2年）を超えて一定期間（最長4年）にわたり、計画的に教育課程を履修し課程を修了することができる制度です。履修すべき総単位数は、2年で修了するものと同じですから、年間の時間的負担は相当軽減されることになります。

本制度の手続き等については、教学支援部教務課工学部教務グループ（大学院担当）までお問い合わせください。

13 その他

- (1) 外国人留学生は、一般選抜試験を受験してください。
- (2) 奨学金を希望する方は、合格者発表後、教学支援部学生支援課（電話 055-220-8053）へ問い合わせてください。

社会人特別選抜 1 年コース学生募集要項

各種の研究・教育・行政機関又は企業等に勤務する方を対象に、筆記試験を免除して特別選抜による学生募集を実施します。

1 募集人員

専攻名	募集人員
持続社会形成専攻	2人

(注) 持続社会形成専攻（1年コース）は、1年間(短期在学)で修士(学術)の学位を取得するコースです。

2 出願資格

各種の研究機関、教育機関、行政機関又は企業等において2年以上(平成25年3月(平成25年10月入学希望者は、平成25年9月)までの間)の勤務経験を有し、現在も勤務する方で、入学後もその身分を有し、次の各号のいずれかに該当する方

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した方
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された方
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した方
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方
- (6) 文部科学大臣が大学院の入学に関し、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方(各省庁の「大学校」等を卒業(修了)した方)
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方
- (8) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し所定の単位を優れた成績をもって修得したものと大学院において認めた方
- (9) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方で、入学の時点で22歳に達している方

【注】 上記の(8)又は(9)により入学を志願しようとする方については、事前に出願資格の審査を行いますので、提出書類等について10月24日(水)までに教学支援部入試課にお問い合わせください。

3 出願手続

- (1) 出願期間：平成24年11月12日(月)～11月16日(金)(期間厳守)
 - ア 本要項添付の「出願用封筒」を使用してください。
 - イ 持参の場合は、出願期間中の毎日9時から16時30分の間に受け付けます。
 - ウ 郵送の場合は、書留速達郵便とし、11月14日(水)の消印まで有効とします。

- (2) 提出先：〒400-8510 甲府市武田四丁目4-37
山梨大学教学支援部入試課
電話 055-220-8046

4 出願書類等

入学を志願する方は、次の書類等を提出してください。

出願書類等	摘 要
①検定料受付 証明書貼付票 (入学検定料 30,000円)	振込手続の際は、必ず銀行等の領収印を押印した「検定料受付証明書」を受領し、出願時に「検定料受付証明書貼付票」に「検定料受付証明書」(原本)を貼り付けて、提出してください。(【入学検定料払込等についての注意事項】参照)
②入学志願票 受 験 票	入学志願票については、別紙様式1(裏面にも)に必要な事項を記入してください。 写真は、出願前3か月以内に撮影した正面上半身無帽のものを指定欄に貼り付けてください。
③成績証明書	出身大学長等が作成したものを提出してください。
④卒業証明書	・出身大学長等が作成したものを提出してください。 ・出願資格の(2)により入学を志願する方は、学位授与証明書を提出してください。
⑤研究計画書	別紙様式2を提出してください。 (修士論文の計画及び準備状況を記入してください。)
⑥志望理由書	別紙様式3を提出してください。
⑦研究業績調書	別紙様式4に卒業論文、学術論文等を有する方のみ記入をし、原則として別刷及び業績概要を添付してください。
⑧入 学 願 書 提出者票・ あて名票	本要項添付のものに、必要事項を記入してください。
⑨返信用封筒	本要項添付のものに、あて先を明記し、350円切手を貼り付けてください。 持参する方は不要です。
⑩そ の 他	改姓により各証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。

【入学検定料払込等についての注意事項】

本要項添付の「指定振込用紙」を使用し、金融機関(銀行又は郵便局)の窓口において振込んでください。
(ATMでの振込は不可)

出願書類の提出にあたっては、次の事項に注意してください。

- (1) 出願に先だって、希望する指導教員と事前打合せを十分に行ってください。
(指導教員の連絡先については、教学支援部入試課に照会してください。)
- (2) 出願書類の受付後は、書類の返却及び入学検定料の返還はしません。
- (3) 出願手続等に不明の点があれば、教学支援部入試課に照会してください。
- (4) 出願手続後は、記載事項の変更は認められません。
- (5) 提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。

5 選抜方法

入学者の選抜にあたっては、研究または実務の業績（学術論文、研究報告、学会等における発表、卒業論文、著書、特許等、または企業内実績、教育実績等）および口述試験の結果を総合して判定し、合格者を決定します。

なお、口頭発表には書画カメラ又はプレゼンテーション用ソフトウェア（MS-Power Point 等）を用いてください。（MS-Power Point 用ファイルは USB メモリか CD に入れて持参してください。その他のプレゼンテーションソフトウェアを用いたい場合は、ノートパソコンを持参してください。）

・口述試験時間

専攻名	口頭発表時間	試問時間
持続社会形成専攻	10分	10分

6 試験日時及び場所

(1) 試験日時

試験日	9時30分～
平成24年12月1日(土)	口述試験

(2) 試験場

山梨大学甲府東キャンパス A-2号館2階 工学部会議室

(試験開始20分前までに工学部会議室に集合してください。)

7 合格者の発表

合格者の発表は、平成24年12月14日(金)17時ごろ甲府東キャンパスA-2号館正面入り口に掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します（電話等による合否の問い合わせには応じかねます。）。

なお、合格者の受験番号をホームページ（<http://www.yamanashi.ac.jp>）にも掲載します。

8 入学時期

平成25年度後期学生募集志願者の入学時期については、志願者が入学時期を選択できます。

出願時に、平成25年4月(前期)又は平成25年10月(後期)入学のいずれかから、自分の希望入学時期を選び、「入学志願票」の入学希望時期欄に○印を必ず付けてください。

また、出願後は、「入学時期の変更」が認められませんので、ご注意ください。

なお、10月(後期)入学の手続き等について、不明な点がある場合は、教学支援部入試課までお問い合わせください。

9 入学手続

(1) 入学手続の期日(予定)

入学時期	入学手続日
平成25年4月入学	平成25年3月7日(木)～3月15日(金)
平成25年10月入学	平成25年9月13日(金)

(2) 納入金は、入学料 282,000 円(予定)です。

①銀行の窓口において、入学料を振込む際には、振込み手続を行う方（振込名義人に代わって保護者等が行う場合にあっては、当該保護者等）の本人確認書類（運転免許証、健康保険証、パスポートなど）の提示が必要となります。

- ②入学料は、入学時に改定されることがあります。また、既納の入学料はいかなる理由があっても返還しません。
- (3) 入学手続関係書類は、別途通知します。

10 授業料

平成 25 年 4 月入学者は、前期分 267,900 円（年額 535,800 円）の予定です。

平成 25 年 10 月入学者は、後期分 267,900 円の予定です。

- ・授業料は、予定額であり、入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納入金が適用されます。
- ・授業料は原則、口座引き落としとなっています。手続については、別途案内します。

11 その他の経費

学生教育研究災害傷害保険料等の経費が必要です。

12 その他

- (1) 外国人留学生は、一般選抜試験を受験してください。
- (2) 奨学金を希望する方は、合格者発表後、教学支援部学生支援課（電話 055-220-8053）へ問い合わせてください。

4 特別募集

社会人特別選抜 1 年コース学生募集要項

各種の研究・教育・行政機関又は企業等に勤務する方を対象に、筆記試験を免除して特別選抜による学生募集を実施します。

1 募集人員

専攻名	募集人員
持続社会形成専攻	2 人

(注) 持続社会形成専攻(1年コース)は、1年間(短期在学)で修士(学術)の学位を取得するコースです。

2 出願資格

各種の研究機関、教育機関、行政機関又は企業等において2年以上(平成25年3月(平成25年10月入学希望者は、平成25年9月)までの間)の勤務経験を有し、現在も勤務する方で、入学後もその身分を有し、次の各号のいずれかに該当する方

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した方
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された方
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した方
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方
- (6) 文部科学大臣が大学院の入学に関し、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方(各省庁の「大学校」等を卒業(修了)した方)
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方
- (8) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し所定の単位を優れた成績をもって修得したものと大学院において認めた方
- (9) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方で、入学の時点で22歳に達している方

【注】 上記の(8)又は(9)により入学を志願しようとする方については、事前に出願資格の審査を行いますので、提出書類等について1月31日(木)までに教学支援部入試課にお問い合わせください。

3 出願手続

- (1) 出願期間：平成25年2月25日(月)～3月1日(金)(期間厳守)
 - ア 本要項添付の「出願用封筒」を使用してください。
 - イ 持参の場合は、出願期間中の毎日9時から16時30分の間に受け付けます。
 - ウ 郵送の場合は、書留速達郵便とし、2月27日(水)の消印まで有効とします。
- (2) 提出先：〒400-8510 甲府市武田四丁目4-37

山梨大学教学支援部入試課
電話 055-220-8046

4 出願書類等

入学を志願する方は、次の書類等を提出してください。

出願書類等	摘 要
①検定料受付 証明書貼付票 (入学検定料 30,000円)	振込手続の際は、必ず銀行等の領収印を押印した「 <u>検定料受付証明書</u> 」を受領し、出願時に「検定料受付証明書貼付票」に「検定料受付証明書」(原本)を貼り付けて、提出してください。(【入学検定料払込等についての注意事項】参照)
②入学志願票 受 験 票	入学志願票については、別紙様式1(裏面にも)に必要な事項を記入してください。 写真は、出願前3か月以内に撮影した正面上半身無帽のものを指定欄に貼り付けてください。
③成績証明書	出身大学長等が作成したものを提出してください。
④卒業証明書	・出身大学長等が作成したものを提出してください。 ・出願資格の(2)により入学を志願する方は、学位授与証明書を提出してください。
⑤研究計画書	別紙様式2を提出してください。 (修士論文の計画及び準備状況を記入してください。)
⑥志望理由書	別紙様式3を提出してください。
⑦研究業績調書	別紙様式4に卒業論文、学術論文等を有する方のみ記入をし、原則として別刷及び業績概要を添付してください。
⑧入 学 願 書 提出者票・ あて名票	本要項添付のものに、必要事項を記入してください。
⑨返信用封筒	本要項添付のものに、あて先を明記し、350円切手を貼り付けてください。 持参する方は不要です。
⑩そ の 他	改姓により各証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。

【入学検定料払込等についての注意事項】

本要項添付の「指定振込用紙」を使用し、金融機関(銀行又は郵便局)の窓口において振込んでください。
(ATMでの振込は不可)

出願書類の提出にあたっては、次の事項に注意してください。

- (1) 出願に先だって、希望する指導教員と事前打合せを十分に行ってください。
(指導教員の連絡先については、教学支援部入試課に照会してください。)
- (2) 出願書類の受付後は、書類の返却及び入学検定料の返還はしません。
- (3) 出願手続等に不明の点があれば、教学支援部入試課に照会してください。
- (4) 出願手続後は、記載事項の変更は認められません。
- (5) 提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。

5 選抜方法

入学者の選抜にあたっては、研究または実務の業績（学術論文、研究報告、学会等における発表、卒業論文、著書、特許等、または企業内実績、教育実績等）および口述試験の結果を総合して判定し、合格者を決定します。

なお、口頭発表には書画カメラ又はプレゼンテーション用ソフトウェア（MS-Power Point 等）を用いてください。（MS-Power Point 用ファイルはUSBメモリかCDに入れて持参してください。その他のプレゼンテーションソフトウェアを用いたい場合は、ノートパソコンを持参してください。）

・口述試験時間

専攻名	口頭発表時間	試問時間
持続社会形成専攻	10分	10分

6 試験日時及び場所

(1) 試験日時

試験日	9時30分～
平成25年3月13日(水)	口述試験

(2) 試験場

山梨大学甲府東キャンパス A-2号館2階 工学部会議室

(試験開始10分前までに工学部会議室に集合してください。)

7 合格者の発表

合格者の発表は、平成25年3月21日(木)17時ごろ甲府東キャンパスA-2号館正面入り口に掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します（電話等による合否の問い合わせには応じかねます。）。

なお、合格者の受験番号をホームページ（<http://www.yamanashi.ac.jp>）にも掲載します。

8 入学時期

平成25年度特別募集志願者の入学時期については、志願者が入学時期を選択できます。

出願時に、平成25年4月(前期)又は平成25年10月(後期)入学のいずれかから、自分の希望入学時期を選び、「入学志願票」の入学希望時期欄に○印を必ず付けてください。

また、出願後は、「入学時期の変更」が認められませんので、ご注意ください。

なお、10月(後期)入学の手続き等について、不明な点がある場合は、教学支援部入試課までお問い合わせください。

9 入学手続

(1) 入学手続の期日(予定)

入学時期	入学手続日
平成25年4月入学	平成25年3月22日(金)～3月27日(水)
平成25年10月入学	平成25年9月13日(金)

(2) 納入金は、入学料 282,000 円(予定)です。

①銀行の窓口において、入学料を振込む際には、振込み手続きを行う方(振込名義人に代わって保護者等が行う場合にあっては、当該保護者等)の本人確認書類(運転免許証、健康保険証、パスポートなど)の提示が必要となります。

②入学料は、入学時に改定されることがあります。また、既納の入学料はいかなる理由があっても返還しません。

(3) 入学手続関係書類は、合格通知書とともに郵送します。

なお、平成 25 年 10 月入学を希望する方には、別途通知します。

10 授業料

平成 25 年 4 月入学者は、前期分 267,900 円(年額 535,800 円)の予定です。

平成 25 年 10 月入学者は、後期分 267,900 円の予定です。

- ・授業料は、予定額であり、入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納入金が適用されます。
- ・授業料は原則、口座引き落としとなっています。手続については、別途案内します。

11 その他の経費

学生教育研究災害傷害保険料等の経費が必要です。

12 その他

(1) 外国人留学生は、一般選抜試験を受験してください。

(2) 奨学金を希望する方は、合格者発表後、教学支援部学生支援課(電話 055-220-8053)へ問い合わせてください。

5 講座内容

大学院医学工学総合教育部修士課程（工学領域）講座内容

専攻名	講座名	主な授業科目	指導教員	主な研究の題目
機械システム工学	エネルギーシステム工学	ロボスト制御特論	教授 藤森 篤	システムのモデリングと制御、移動ロボット
		熱エネルギー工学特論	教授 武田 哲明	熱・物質移動現象に関する研究
		車両運動力学特論	教授 毛利 宏	自動車の運動と制御に関する研究
		粘性流体特論	准教授 角田 博之	数値シミュレーションによる乱流解析
機械システム工学	システム工学	動的システム特論	准教授 野田 善之	動的システムの解析と制御に関する研究
		数値流体力学特論	准教授 山本 義暢	流れの高精度予測とモデリング
		伝熱工学特論	准教授 鳥山 孝司	熱エネルギーの有効利用法に関する研究
		表面改質特論	教授 園家 啓嗣	表面処理技術と表面改質技術に関する研究
機械システム工学	創形質工学	精密加工学特論	教授 萩原 親作	微粒破砕現象にもとづく研削機構の研究
		材料工学特論	准教授 中山 栄浩	材料の力学特性と変形速度、試験温度との関係
		材料物性物理特論	准教授 渡辺 勝儀	量子構造試料の作成と物性研究
		塑性加工学特論	准教授 吉原 正一郎	金属材料の塑性加工に関する研究
機械システム工学	集積化システム工学	計測工学特論	准教授 清水 毅	画像を応用した形状計測技術の開発
		光システム工学特論	准教授 金 蓮花	光計測・光エレクトロニクスの基礎研究及びその応用
		アクチュエータ工学特論	教授 大内 英俊	流体制御システムに関する研究
		デジタル制御工学特論	教授 古屋 信幸	ロボットおよびメカトロニクスに関する研究
機械システム工学	感性情報工学	ロボット工学特論	教授 寺田 英嗣	ロボットシステム及びアクチュエータに関する研究
		振動騒音制御特論	准教授 北村 敏也	空気流による発生音および低周波騒音に関する研究

専攻名	講座名	主な授業科目	指導教員	主な研究の題目
電気電子システム工学	情報システム	代数学特論 解析学特論 半導体デバイス工学特論 電子回路特論 デジタル回路特論 信号処理特論 電磁波理工学特論	教授 大木真 准教授 垣尾省典 准教授 埴雅典 准教授 本間聡 准教授 佐藤隆英	信号処理、特に多次元及び適応信号処理システムの理論と応用 弾性表面波デバイス、光導波デバイス 通信用途向け各種光信号処理デバイス・システム技術の開発 光機能デバイス、光スイッチ・メモリの開発と応用 集積回路 (LSI) 設計、低消費電力化技術、高周波アナログ回路
	情報エレクトロニクス	結晶工学特論 光波工学特論 通信デバイス工学特論 情報システム特論 熱統計学特論 機能デバイス工学特論 プラズマ工学特論 ヒューマンインタフェース特論 量子デバイス特論 ナノデバイス工学特論 電気電子システム工学演習 電気電子システム工学研究 注：電気電子システム工学専攻では一人の教員が複数の授業を担当しています。そのため、授業科目と指導教員の間の対応付けができません。ここに挙げてあるものは、専攻として開講している科目を羅列したものです。	教授 鳥養映子 教授 小林 潔 教授 中川 清和 教授 堀 裕和 教授 矢野 浩司 教授 内山 智香子 准教授 山中 淳二 准教授 鍋谷 暢一 准教授 居島 薫 准教授 村中 司 准教授 有元 圭介 准教授 白木 一郎 准教授 小野島 紀夫	表面・界面磁性のスピン偏極粒子による微視的研究 光近接場、ナノフォトニックデバイスの基礎研究 IV族半導体超構造形成とその物性・素子応用に関する研究 レーザー分光、光ポンピング、ナノ光電子機能 パワー半導体デバイスの設計及び作製 量子情報システムに対する統計力学的研究 電子顕微鏡材料学、材料組織学、各種材料の相転移 化合物半導体の結晶成長と物性 表面の電子スピン計測法の研究 微細加工による化合物半導体機能性ナノ構造の作製と応用 IV族半導体ヘテロ構造の電子物性についての研究 走査型プローブ顕微鏡法によるナノ構造解析と物性計測 高性能な有機トランジスタや有機太陽電池の作製

専攻名	講座名	主な授業科目	指導教員	主な研究の題目
コンピュータ・メディア工学	メディア工学	感覚情報メディア処理特論	教授 岩宏	WEBインテリジェンス、データマイニング、定理自動証明
		情報数理セキュリティ特論	教授 沼賢	人間における情報処理過程を考慮したメディアの開発
		インターネット工学特論	教授 小澤	コンピュータグラフィックス及び各種データの可視化
		画像メディア処理特論	教授 茅暁	自然言語処理とその応用に関する研究
		ソフトウェア開発工学特論	教授 福本	インタラクティブシステムのデザイン
		ソフトウェア設計・検証工学特論	教授 郷健太郎	インテリジェントセンサーおよび味覚情報処理
		インタラクティブデザイン特論	准教授 森正之	分散協調型システム及び対話的マルチメディア技術
		人工知能特論	准教授 安藤英	ニューラルネットワークに関する研究
			准教授 服部元信	人工知能、知識表現と推論、プランニングに関する研究
			准教授 鍋島英知	ヒューマンインタフェースに関する研究
			准教授 小俣昌樹	
			教授 関芳	音声の分析、合成・認識・理解
			教授 宮本	応用代数学、数式処理
			教授 宗久	場の量子論、ニューラルネットワーク
	教授 大淵	マルチメディア検索、コンピュータグラフィックス		
	准教授 鈴木	情報検索、自然言語処理、音声言語理解		
	准教授 渡辺	ソフトウェア生成系、ソフトウェア開発環境		
	准教授 美濃	並列処理、セキュリティ、コンピュータネットワーク		
	准教授 小林	ニューラルネットワーク、学習理論		
	准教授 高橋	ソフトウェア設計		
	准教授 鈴木	高性能計算		

専攻名	講座名	主な授業科目	指導教員	主な研究の題目
土木環境工学	建設システム工学	工学数理解特論	教授 佐藤 眞久	土木環境工学における数理科学的研究
		構造設計学特論	教授 杉山 俊幸	構造物の振動・騒音問題、構造物の信頼性解析と性能設計
		気象学特論	教授 末次 忠司	河道における流水・物質の動態とそれが及ぼす環境への影響
		土質工学特論	准教授 後藤 聡	砂地盤の液状化、地盤材料の応力・ひずみ関係
		ユニバーサルデザイン学特論	准教授 岡村 美好	公共施設のエコユニバーサルデザイン
		建設材料学特論	准教授 斉藤 成彦	コンクリート構造の破壊挙動の解明と耐震性能に関する研究
		構造力学特論	准教授 吉田 純司	免震・制振デバイスを利用した構造物の振動制御
		コンクリート構造学特論	准教授 高橋 良輔	コンクリート構造の耐久性評価に関する研究
	社会基盤工学	環境数理解析特論	教授 安尾 南人	土木環境工学における数理科学的研究
		環境計画特論	教授 大山 勲	地域計画、環境計画、景観デザインに関する研究
		景観工学特論	准教授 石井 信行	景観デザイン、構造デザイン、地域プロデュースに関する研究
		リモートセンシング・地理情報活用学	准教授 石平 博一	水文モデルの開発、衛星情報の水文学への応用
		都市計画特論	准教授 石武 慎	環境に配慮した都市・地域計画に関する研究
		河川流域管理特論	准教授 市川 温	水・熱・物質移動系のモデリングとその水工計画学への応用
環境システム工学	水質管理工学特論	教授 平山 公明	河川での汚濁物の流出と水質変化	
	物質動態論特論	教授 坂本 康	自然界の水循環に伴う環境汚染物質の移動	
	環境熱学特論	教授 舛谷 敬一	土木環境工学における物理学的基礎研究	
	衛生工学特論	教授 金子 栄廣	廃棄物等の生態毒性評価、バイオマス系廃棄物の資源化	
	環境生物学特論	准教授 河野 哲郎	環境浄化・保全のための微生物学と環境生物工学	
	陸水水質評価特論	准教授 西田 継	流域の生元素動態と微生物学的安全性の評価	
	水処理工学特論	准教授 森 一博	生物環境工学による水・土壌環境の修復と保全	

注意：土木環境工学専攻の教員の中には国際流域環境科学特別教育プログラムを担当している教員もいます。

学生便覧 (http://www.yamanashi.ac.jp/modules/campuslife_support/index.php?content_id=84) で土木環境工学専攻と国際流域環境科学特別教育プログラムの授業科目や履修要件を比較して、希望する専攻等を選択してください。

専攻名	講座名	主な授業科目	指導教員	主な研究の題目
応用化学	物質化学	高分子材料化学特論第二 有機物質化学特論第二 無機機器分析特論 誘電体特論 結晶材料工学特論 機能性材料開発特論 エネルギー量子化学特論第一 固体表面化学特論 触媒化学特論 燃料電池反応解析特論 触媒化学特論 有機機器分析特論第二 高分子材料化学特論第一 有機物質化学特論第一 高分子合成化学特論	教授 木章 教授 鈴木 教授 原久保 教授 和田 教授 熊中 教授 入江 教授 潤和 特任教授 犬山 特任教授 東平 特任教授 宮尾 准教授 谷奥 准教授 桑原 准教授 小幡	結晶性高分子材料の高次構造と力学特性 新規な機能性有機材料（導電性、発光性、イオン性）液晶の研究 極微量成分分析法の開発と応用 ナノ構造制御による環境調和型電子セラミックスの創製 機能性酸化物単結晶の育成技術開発と新機能創成 新規無機化合物の合成と結晶構造解析 エネルギー、環境材料の創製と評価 固体表面の構造・電子状態と反応性の解析 燃料電池用燃料製造・精製触媒の研究 分子素子設計、表面量子化学、表面反応制御 燃料電池用ナノ構造触媒の研究 高速クロマトグラフィーにおける保持機構の解明 導電性高分子を用いたプラスチックエレクトロニクス 機能性有機色素の合成と超分子材料の創製 機能性高分子の合成と応用
		燃料電池設計科学特論第一 応用物理化学特論第二 燃料電池設計科学特論第二 燃料電池システム工学特論 燃料電池反応解析特論 燃料電池システム工学特論 燃料電池科学技術英語特論 燃料電池反応解析特論 金属錯体化学特論 分離化学特論 クリーンエネルギー変換工学特論 機能性セラミックス特論第二 機能性セラミックス特論第一 エネルギー量子化学特論第二 応用物理化学特論第一 応用物理化学特論第二 燃料電池ナノ材料特論 燃料電池反応解析特論	教授 内田 教授 柴田 教授 宮内 特任教授 出小 特任教授 トナルド 特任教授 渡辺 特任教授 阪根 准教授 小野 准教授 綿武 准教授 佐藤 准教授 柳宮 准教授 柿野 特任准教授 矢野	燃料電池用電極触媒の設計とナノスケール解析 表面・界面の制御と機能に関する研究 燃料電池用高分子電解質の研究 燃料電池用高性能電極の設計 電極材料はじめ各種機能性材料の合成と物性評価 燃料電池システムの評価と解析 燃料電池用電極触媒性の解析とシミュレーション 家庭用、電気自動車用高効率・クリーン燃料電池の研究 無機化合物の局所構造解析とその特性評価 クロマトグラフィーの高機能化 燃料電池用電極触媒の研究 酸化物超伝導体単結晶の育成と評価 機能性無機有機複合体の作製と評価 表面化学反応制御と薄膜半導体の形成法に関する研究 新機能性酸化物半導体の探索と電子物性評価 表面の制御とその応用に関する研究 燃料電池用ナノ材料の合成と物性解析 燃料電池用触媒の合成と電気化学特性評価

専攻名	講座名	主な授業科目	指導教員	主な研究の題目
生命工学	生命機能工学	酵素工学特論 構造生物学特論 細胞観察法特論 生体環境論特論 バイオリアクター特論 生体反応特論 生物有機化学特論 分子生物学特論 構造インフォマティクス特論	教授 春井定 教授 楠木正巳 教授 早川正幸 教授 宮川洋三 教授 黒澤尋夫 准教授 中村和夫 准教授 新森英之 准教授 野田悟子 准教授 大槻隆司	酵素の分子設計、バイオマス資源 X線構造生物学 電子顕微鏡による生物細胞の形態観察技術の開発 真菌の細胞生理学および分子遺伝学的研究 バイオリアクターの形式と細胞増殖の動力学 極限環境微生物の培養と生化学 生体成分の有機化学的解析と人工的機能制御 遺伝学工学的手法を用いた新規微生物資源の機能解析 微生物・微生物群機能の高度活用によるバイオマス有効利用
	ワイン総合科学	微生物資源工学特論 生物機能分析学特論 有用微生物工学特論 植物分子生物学特論 機能成分解析学特論	教授 柳田藤寿 教授 奥田徹和 准教授 岸本宗二 准教授 鈴木俊雅 准教授 久本雅嗣	ワイン醸造微生物の利用に関する研究 機能性成分の分離・分析とその利用法の開発 ワイン醸造微生物の選抜・育種に関する研究 高品質ブドウ樹の育種及び選抜 ブドウやワイン中のポリフェノールに関する研究

専攻名	講座名	主な授業科目	指導教員	主な研究の題目
持 続 社 会 形 成	持 続 社 会 形 成	都市政策特論	教授 北村 眞一	都市及び地域空間の解析・評価・設計と都市像の探求
		再生可能エネルギー変換特論	教授 小宮山 政晴	再生可能エネルギー、固体触媒に関する研究
		進化生命学特論	教授 御園生 拓智	藻類の生化学へ生命の進化的理解
		環境モデリング特論	教授 竹内 博泰	システムシミュレーション、極域環境科学
		オープンシステム開発特論	教授 豊木 秀二	交通流やネットワークの非平衡ダイナミクス
		環境現象学特論	教授 森田 徹	主観的空間認知の現象学的、文化史的分析
		群集生態学特論	教授 風間 ふたば	生物群集における多様性と安定性維持機構
		環境分析化学特論	教授 高橋 智子	環境化学と水処理
		技術開発史特論	准教授 伊藤 一帆	科学・技術の歴史分析
		数値コンピューティング特論	准教授 金 基成	偏微分方程式の逆問題とその地球環境問題への応用
		環境政治学特論	准教授 門野 圭司	サステイナブルな発展戦略の比較
		公共政策特論	准教授 島崎 洋一	持続可能な地域発展と公共政策・行財政システム
		エネルギー政策特論	准教授 岩田 智也	熱の多段階利用システムの導入に関する研究
		生態系物質循環特論	准教授 下川 敏雄	生物多様性の維持機構の解明
		環境データ解析特論	准教授 小林 拓幸	統計的学習の開発とその医学・疫学への応用に関する研究
		地球環境解析特論	准教授 島 弘	放射理論に基づいた海色リモートセンシング
		環境物理学特論	各員教授 長谷川 達也	自然から学ぶ「カタチ」の科学技術
		持続社会形成研究第1	各員准教授 内山 高仁	生体内微量元素のスペシエーションとその働きに関する研究
		持続社会形成研究第1	各員准教授 池口 仁	ジオ情報、テロワレレによる自然環境特性の解明に関する研究
		持続社会形成研究第1		地域計画のための自然的、社会的立地条件及び土地利用秩序の研究

注意：持続社会形成専攻の教員の中には国際流域環境科学特別教育プログラムを担当している教員もいます。

学生便覧 (http://www.yamanashi.ac.jp/modules/campuslife_support/index.php?content_id=84) で持続社会形成専攻と国際流域環境科学特別教育プログラムの授業科目や履修要件を比較して、希望する専攻等を選択してください。

専攻名	講座名	主な授業科目	指導教員	主な研究の題目
人間システム工学	人間システム工学	皮膚光学特論	教授 藤間 一美	光を演出する光学手法、光源、材料の研究
		安全・安心マネージメント特論	教授 鈴木 康	防災、危機管理を中心とした安全・安心科学技術に関する研究
		プラズマエレクトロニクス特論	教授 秋津 哲也	マイクロ波プラズマビーム源の開発と応用
		シミュレーション工学特論	教授 本田 建一	最高エネルギー宇宙線の研究
		薄膜計量学特論	教授 近藤 英一	マイクロ・ナノ電子機械システム材料と加工技術に関する研究
		量子光学特論	教授 張本 鉄雄	超高強度・極短パルスレーザー光を用いた非線形光学現象
		都市生活デザイン特論	教授 佐々木 邦明	人間の生活・行動をベースとした都市システムの解析
		画像処理工学特論	准教授 小谷 信司	知能移動ロボットの誘導とビジョンによる環境理解
		多次元生体信号処理特論	准教授 阪田 治	多次元生体信号解析理論及びその医療・食品工学への応用
		マイクロエレクトロニクス特論	准教授 加藤 初弘	マイクロデバイスに関するデバイス物理とシステム設計の境界領域
		超音波工学特論	准教授 石井 孝明	強力超音波利用アクチュエータに関する研究
		人間指向機器加工学特論	准教授 平 晋一郎	微細加工における加工精度の向上及び加工機構の解明に関する研究
		安全・安心マネージメント特論	准教授 秦 康範	防災、危機管理を中心とした安全・安心科学技術に関する研究
		有機材料科学特論	准教授 小川 和也	光機能性有機材料の開発
		トライボロジー特論	准教授 石田 和義	摩擦・摩耗・潤滑に関する研究

プログラム名	主な授業科目	指導教員	主な研究の題目
組み込み型統合システム 開発教育プログラム	アクチュエータ工学特論 組み込み型統合システム概論 意味的マルチメディア処理特論 組み込み型統合システム開発実践 ロボット工学特論	教授 大内英俊 教授 関口芳廣 教授 大淵竜太郎 教授 宗久知男 教授 寺田英嗣 准教授 小谷信司	流体制御システム 対話型ロボット 形の類似性による3次元モデルの検索 統計学的知能情報処理 ロボットシステム 知能移動ロボット

プログラム名	主な授業科目	指導教員	主な研究の題目
国際流域環境科学特別教育プログラム	河川流域管理特論 水資源学特論 陸水水質評価特論 気象学特論 リモートセンシング・地理情報活用学 環境分析特論 農業環境システム特論 流域医学特論 流域研究特別研修 注：国際流域環境科学特別教育プログラム には複数の教員が授業を担当していま す。ここに挙げたものは、プログラ ムとして開講している科目を羅列したも のです。	教授 新藤純子 教授 坂本康 教授 風間ふたば 教授 末次忠司 准教授 西田継 准教授 石平博 准教授 市川温	物質循環から見た農業が環境へ与える影響評価 自然界の水循環に伴う環境汚染物質の移動 陸水水質管理工学と低炭素型水処理方法の開発 土砂・物質動態を通じた河川流域管理に関する研究 流域の生元素動態と微生物学的安全性の評価 水文モデルの開発、寒冷圏の水文学に関する研究 水・熱・物質移動系のモデリングとその水工計画学への応用

プログラム名	分野名	主な授業科目	指導教員	主な研究の題目
グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム	燃料電池	燃料電池設計特論第一	教授 内田裕之	固体高分子形および固体酸化物形燃料電池用電極触媒の設計
		燃料電池設計特論第二	教授 宮武健慎	燃料電池用高分子電解質の合成と物性評価
		電極触媒設計特論第一	准教授 野原田誠	固体高分子形燃料電池用電極触媒の研究
		電極触媒設計特論第二	特任教授 内田渡出	燃料電池用高性能膜/電極接合体の設計
		燃料電池反応解析特論	特任教授 渡辺来成	家庭用、電気自動車用高効率・グリーン燃料電池の研究・開発
		燃料電池反応解析特論	特任教授 小俣富克	電気化学デバイス用機能性材料の合成と物性評価
		燃料電池システム工学特論	特任教授 柿沼野	各種燃料電池システムの評価と解析
		燃料電池ナノ材料特論	特任教授 矢野啓	燃料電池用ナノ材料の合成と機能解析
	燃料電池反応解析特論	特任准教授	固体高分子形燃料電池用ナノ触媒の合成と特性評価	
	太陽エネルギー	太陽エネルギー変換工学特論第一	教授 入江寛子	太陽エネルギー変換材料、環境材料の創製と評価
半導体量子科学特論第一		教授 鳥養映一	表面・界面におけるスピントランスポールと反転の研究	
半導体量子科学特論第二		准教授 鍋谷暢博	多機能性半導体結晶の成長とその物性制御	
太陽エネルギー変換工学特論第二		准教授 柳博	太陽エネルギー変換用酸化物半導体の合成と物性評価	
エネルギー変換材料	固体材料科学特論第一	教授 和田智志	環境調和型圧電セラミックスの創製と機能評価	
	先端無機材料設計特論第一	教授 田中伸功	機能材料単結晶の育成と新機能創成	
	先端無機材料設計特論第二	教授 熊田潤弘	新規無機化合物の合成と特性評価	
	表面・界面科学特論第一	特任教授 犬飼治	エネルギー変換材料の表面構造と電子状態の解析	
新エネルギー工学	マイクロ・ナノ材料工学特論	教授 近藤英一	マイクロ・ナノ材料のプロセッシングと評価	
	再生可能エネルギー科学特論	教授 小宮山政晴	バイオマスのエネルギー変換プロセスおよび触媒	
	固体材料科学特論第二	准教授 武井貴弘	機能性無機複合体の作製と評価	
	表面・界面科学特論第二	特任教授 宮尾敏広	水素製造用ナノ構造触媒の研究	
	触媒化学特論	特任教授 東山和寿	燃料電池用水素製造・精製触媒の研究	
共通	グリーンエネルギー科学・技術英語特論	特任教授 ドナルド トリック	燃料電池用電極触媒作用の解析	

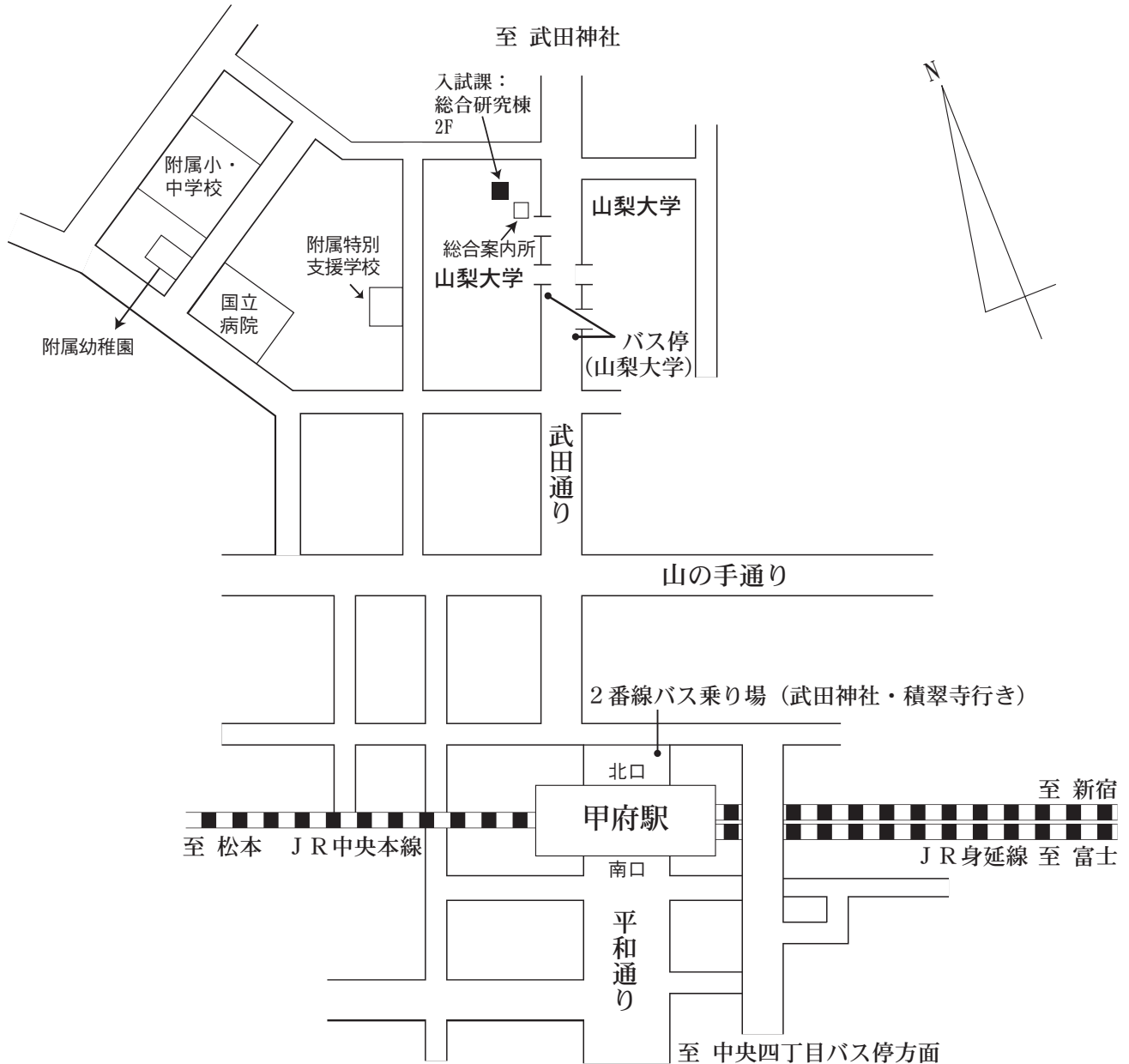
出願書類等記入上の注意事項

- 1 ※印欄は、大学側で記入します。
- 2 記入は、ペン又はボールペンを用い、楷書で記入してください。
- 3 志望する専攻等名は、募集要項で明記している専攻等名を記入してください。
- 4 志望する講座・分野名は、募集要項の「5 講座内容」で明記している講座・分野名を記入してください。
- 5 一般選抜の生命工学専攻を志望する方は、入学志願票及び受験票の選択科目欄に選択した科目名（2科目）を記入してください。
- 6 グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラムを志望する方は、入学志願票及び受験票の選択科目欄に選択した1つの科目群を記入してください。
- 7 出願資格欄は、提出する成績証明書の大学等名を記入してください。
- 8 入学希望時期欄は、いずれかを選択し、○印を記入してください。
入学願書提出後は、「入学時期の変更」が認められませんので、ご注意ください。
- 9 受験票は、試験期間中必ず携行してください。
- 10 入学願書提出後、連絡先等に変更が生じた場合は、速やかに届け出てください。
- 11 出願にあたって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務、④統計調査を行うために利用します。また、入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
なお、入学者については、知り得た個人情報を①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

山梨大学（甲府キャンパス）案内図

甲府駅下車、北口から徒歩約20分

甲府駅下車、北口からバス（武田神社、積翠寺行き）で約5分 山梨大学下車



構内には駐車場がありませんので、電車、バス等の公共交通機関を利用して下さい。